

三次市農業交流連携拠点施設改修等工事

NOTE				PROJECT TITLE				TITLE			
・ SCALE (A 2 版) ・ 7 1 % (A 3 版)				三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				表紙			
				JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	—
								DWG. NO	D-001		

構造設計特記仕様書

1. 建築物の構造内容適用は 印を記入する。

(1) 工事名称 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事

(2) 構造種別

木造(W)補強コンクリート造(CB)鉄骨造(S)

鉄筋コンクリート造(RC)壁式鉄筋コンクリート造(WRC)

鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPC)

プレキャスト鉄筋コンクリート造(PC)プレストレスト鉄筋コンクリート造(PRC)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ(cm)	備考
捨コンクリート	普通	18		
土間コンクリート	普通	21	15	※1
R C 躯体	普通	21	15	※1
混和剤(JIS G 6204)	普通			

※1) 水セメント比の最大値は60%とする。単位セメント量の最小値は270kg/m3とする。
単位水量の最大値は185kg/m3とする。

(2) コンクリートブロック

A種B種C種

厚さ100120150190

(3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	SD295A	D10～D16	RC躯体全般	重ね継手D10～D16
	SD345	D19～D25		ガス圧接継手D19～D25
丸鋼				特殊継手
溶接金網				()

(4) 鉄骨

	種類	使用箇所	現場溶接	備考
鋼材	SS400	SS490	大梁・小梁・その他	有 無
	STK400	STK490	柱・え柱	有 無
	STKR400		柱(雪掛け屋根)	有 無
	SNR400B		ブレース	有 無
	SN400C	SN490C	ガイワラム	有 無
	SSC400		胴縁	有 無

使用箇所の詳細については別途図示とする。

(5) ボルト

F8T溶融亜鉛メッキ高力ボルト

高力ボルト普通、F10T特殊、S10T 認定品(M12M16M20M22)

(溶融亜鉛メッキ使用箇所は、F8T とする。)

中ボルト種類：4.8

ボルト戻り止めを施すこと。

アンカーボルトABR400SS400(シグナル)柱脚リストに依る

スタッドボルトφ=L=mm

(6) 屋根、床、壁(屋根ふき材(昭46建告109)は施行令第39条に適合させる)

屋根：折版(H=88mm t=0.8)

3. 地盤

(1) 地盤調査資料

有(敷地内、近隣)

4. 地業工事

(1) 直接基礎ベタ基礎布基礎独立基礎試験据有無

深さ設計GL-0.8m(雪除け屋根基礎) 載荷試験有無

長期許容支持力度：55kN/m²(ボーリング No2 によるもの)

(2) 杭基礎

杭種	材料	施工法	備考
RCPCPHC鋼管節付きPHC杭	PC(A種B種C種)PHC(A種B種C種)鋼材SS400STK490材質(A種B種C種)	打ち込み埋込み(セメント工法)スクリュールパイルEAZET工法	
場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc= N/mm ² セメント量 kg/m ³ 鉄筋主筋	オーステンシル底杭リフト・スチール・セクション7・スドリルミックスBH	抗底杭セメント認定第号

杭仕様 施工計画書承認杭施工結果報告書

試験杭 有無(打ち込み 載荷)

杭径	設計支持力(kN/本)	杭の先端の深さ SGL-(m)	杭数(セト)	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関しては「公共建築工事標準仕様書」(平成19年版)による。

セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得る事。

フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(写真)を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、又は現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと打ち込み日ごととする。

また、打込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端部ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。

なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は120分、25℃以上の場合は90分以内とする。

コンクリート強度に関しては、設計基準強度に温度補正値及び品質管理に伴う補正値(3N/mm²)を加えた呼び強度が40N/mm²を超えた場合は、国土交通大臣の認定品を使用する事。

高性能AE減水剤は、Fq≧30および夏期配合の場合に使用する。

夏期配合は各地域により適用期間が異なるため、確認すること。

高性能AE減水剤を使用した場合のスランプの上限値は21cmとする。

(2) 鉄筋

鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。

高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適用品とする。

鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。

D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、社)日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。

外観検査有無、引張試験有無、超音波探傷試験有無

柱の帯筋(HOPP)の加工方法は、H型(タガ型)W型(溶接型)S型(スパイラル型)とする。

コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する試験機関監理者が指定する機関代行業者名監理者が指定する機関代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠

材料 合板厚12mmを標準とする。施工はJASS5による。

型枠存置期間

種類 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種
存置期間の平均気温	15℃以上	2	3	4	6	8	17
	5℃～15℃	3	5	5	10	12	25
材齢(日)	5℃未満	5	8	10	16	15	28
	コンクリートの圧縮強度	5N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%100%	

注) 1. 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2. 大ばりの支柱の盛り変えは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3. 支柱の盛り変えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4. 盛り変え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5. 支柱の盛り変えは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛り変えをとしてはならない。
注) 6. 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。

「建築工事共通仕様書」(平成9年版)

日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

社)鉄骨建設協会「突合せ継ぎ手の食い違い仕口のいずれの検査補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの。

製作工場製作要領書工作図施工計画書

認定または登録工場(大臣認定SHMRJグレード)を標準とし、監理者の指示による。大臣認定Rグレード以上は、第3者検査率30%以上とする。大臣認定Jグレード以上は、第3者検査率50%以上とする。

材料規格証明書または試験成績書

鋼材高力ボルト特殊ボルト中ボルト

社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること。)

現時検査組立・開先検査製品検査

建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること。

東京都アーク溶接工事管理規程(建築構造設計指針第12章)

鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱(建築構造設計指針第12章)

日本建築学会「溶接工作規程、同解説」

(5) 接合部の検査

溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
突合せ溶接部	超音波探傷試験	100%	30個	0個	第3者による検査は6.(2)による。 ※平成12年建設省令第146号による(目視及び計測)
	※外観(目視)検査	100%	0%	30%	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					
注)現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。 第三者検査は、A00L 4.0% 第6水準を採用してよい。					

高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等もちいて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤錆状態であること。

但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。

高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。

締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

国交省告示1464号に関する溶接部の検査

(6) 防錆塗装 監理者の指示による

適用		塗料	種類	標準膜厚
屋外	室内	鉛、クロムフリー錆び止め	JISK5674	30μm
・	・	一般用錆止めペイント	JISK5621	・1種・2種35μm
・	・	ジンクリッチプライマー	JISK5552	・1種・2種15μm
・	・	シアナミド鉛錆止めペイント	JISK5625	・1種・2種35μm

現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

7. 設備関係

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。

設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

C D管及び、合成樹脂可とう電線管使用の場合は、構造設計者と十分協議の上使用の事。

・令第129条の2の3事項

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。

屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造上主要な部分に緊結すること。

煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は、鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さが5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。

建築物に設ける給水、排水その他の配管設備(給湯設備を除く。)は、

風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5)に規定する構造方法によること。

昇降機については、昇降機の荷重を建築物本体へ考慮した設計を行う。昇降機の受け材が直接取り付く梁、小梁、床等の安全性等の設計を行う。

*「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

8. その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

NOTE

・SCALE(A2版)・71%(A3版)

一般建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社

PROJECT TITLE

三次市農業交流連携拠点施設改修等工事

TITLE

構造特記仕様書

一般建築士事務所 広島県知事登録第15(1)5276号 一般建築士 中国 広島 大田 建設第11359号
広島事務所 〒730-0024 広島県広島市中区西町15-125 ユニオンビル203 TEL 082-643-4602 / FAX 082-643-4603

JOB NO

APPD.

CHKD.

OWN.

DATE

2023. 12. 01

SCALE

—

DWG NO

D-003

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による

(1) 定着

① 大梁

水平投影長さは
3/4D以上とする

折曲げ起点は中心線を
こえる事を原則とする
注) 点線は下端筋の曲上げ定着L2を示す

最上階

つりあげ筋
(梁主筋を折曲げるとき)

柱幅が大きい場合

柱幅

150以上

※ L2

フック付

※ 1

D

※ 柱幅が大きくて、直線部だけで
L2がとれる場合でも柱中心線を
こえて中間折曲げテール長150

② 小梁の定着

以上又は180°フック付とする
※1：水平投影長さは、3/4D以上とする

斜めでもよい
斜めでもよい
下向きでもよい

最終端
1/2B

連続端

10/6
10/4
10

25d
20d
15d
15d

L2

180°

平面

正面

正面

$\theta = 45^\circ$

正面

補強あばら筋は小梁主筋側に必ず入れること。

③ 片持梁の定着

15d 21a/3 L1 25d 1a 先端 端部

平面

縦筋折り下げ

あばら筋を入れる

(2) 大梁主筋の継手

は継手の好ましい位置

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

第一あばら筋は柱面より配筋する

つりあげ筋

(4) あばら筋の型

×印は幅止め筋

つり上げ筋は、一般あばら筋より、1サイズ太い鉄筋か、又は、同サイズを2本巻きとする

(イ) 原則として㊶のフック先曲げとする。片側床版付（Ｌ型）梁で㊵、
両側床版付（Ｔ型）梁で㊶又は㊷とすることができ、

(ロ) フックの位置は㊶にあっては交互、㊷にあってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600 不要	
600≤D<900	2-D10(9φ) 1段	
900≤D<1200	4-D10(9φ) 2段	
1200≤D	D10(9φ)≧300以内	

幅止め筋

腹筋

4d

4d

D

S R C の場合

1) 定着及び継手

(a) 一般床スラブ

(b) 片持ち床スラブ

継手位置は原則として下表による

	標準継手位置
上端筋	短辺方向 B
	長辺方向 B
下端筋	短辺・長辺方向 A C

2) 屋根スラブの補強

補強筋は3-D13又はスラブ主筋の同一径
で $l=1,500$ とし、上端筋の下に配筋する

※の箇所(入隅)は各階補強する

3) 片持ちスラブ出隅部補強

注) 出隅部の補強筋は、計算により算出する

※ 出隅部補強筋は、それぞれ方向に出隅筋として出隅部本数をハッチ部配置する。

注) $l_1 \geq l_2$ とする

注) $l_1 \geq l_2$ とする

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

(出隅部分補強配筋) (出隅受け部配筋)

周囲補強筋

斜め補強筋

D13

L1

2:1

孔と孔のへりのあき100以上

床板厚さD	周 囲	斜 め
$D \leq 150$	各2-D13	各1-D13
$150 < D \leq 200$	各2-D13	各2-D13
$200 < D \leq 300$	各2-D19	各2-D16

5) 床板段差

端部

中央

端部

中央

Diagram illustrating the cross-section of a bed board joint (床板段差) at the end (端部) and center (中央) of the bed frame.

The diagram shows the end view (端部) and the side view (中央) of the joint. The end view shows the joint at the end of the bed frame, with dimensions L1, D13, and 2D. The side view shows the joint in the center of the bed frame, with dimensions 500, 500, and 2D. The diagram also shows the joint at the end of the bed frame, with dimensions L1, D16, and 2D. The diagram includes labels for the end (端部) and center (中央) of the joint.

Dimensions shown:

- L1
- D13
- 2D
- 500
- D16
- 2D

Labels:

- 端部 (End)
- 中央 (Center)

(6) 土間コンクリート

(a) 軽作業の土間

(b) 間仕切壁との交叉部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強

- ・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上
- ・無筋部分D10-200@ 長さ800以上

[illegible][illegible]

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

スリット部の鉄筋の振り厚さは
2~(4)かぶり厚さの表、最小かぶり厚さ以上とする。

柱に定着はシングル配筋とする

$W \leq D/6$ かつ 10ϕ

(3) 手摺、パラペット

手摺

パラペット

120以上

150以上

100以下

D13

D10-150@S

D10-200@

D13

D10-150@W

D10-200@W

H

L2

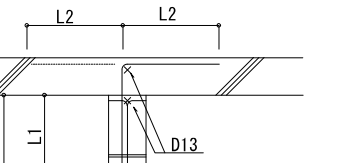
L1

L2

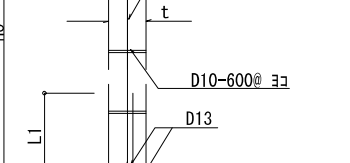
(但し、 $H > 800$ 以上の場合、設計図による)

(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合



下部防水立上りのある場合



注) $h_0 \leq 25$ t かつ 3500 以下とする。但し直交方向 25 t 以内に壁、又は柱がある場合は除く。

注) h はコンクリートブロック段数調部寸法とする。但し、 $200 \leq h \leq 400$

注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること。

(1) 柱

ハッチ部分の面積 $A \text{ cm}^2$

補強縦筋

$A < 500$	$500 \leq A < 1000$	$1000 \leq A < 1500$
3-D 16	4-D 16	6-D 16

※柱と同様、同ピッチとする。

ハッチ部分は増打コンクリートを示す

●印は補強筋

2) 梁

The image contains two technical drawings of a reinforced concrete beam. The left drawing is a cross-section showing a rectangular beam with a width of 300 units and a total height of 300 units. It features a central vertical section of width 'a' with diagonal hatching, representing a core of reinforcement. Labels include '巾止筋' (stirrups) for the outer perimeter, '槽強筋' (top longitudinal reinforcement) at the top, 'あばら補強筋' (side reinforcement) on the sides, and 'D 10' indicating the diameter of the side reinforcement. The right drawing is a side view of the beam with a total width of 'D' units. It shows a top reinforcement layer of height 'a' and a side reinforcement layer of height 300 units. Labels include '補強筋' (top reinforcement), 'あばら補強筋' (side reinforcement), and 'D 10' indicating the diameter of the side reinforcement. Below the drawings, a note states 'ハッチ部分は増打コンクリートを示す' (Hatched part indicates additional concrete).

・槽強筋は、梁主筋の1段落し径（D 16以上）とする。

・あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

・腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。

・D \geq 400の場合は槽強筋を3本とする。

・aは100~200程度

・梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート槽強と同様とする。

・ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

ハッチ部分は増打コンクリートを示す

1) 設置可能範囲

ケーブルラック (300×100) 貫通孔精強 ※ 公共工事標準仕様書 (平成19年版)
H6: 梁幅 ≤ 500
H7: 梁幅 > 500

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) は避ける

望ましい範囲

3

lo/4

lo

D

$(\phi 1 + \phi 2) \times 3/2$ 以上

$\phi 1$

$\phi 2$

貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合わせの事。

<p>(2) 鉄筋径標準配筋</p> <p>$80 \leq \phi \leq 100$</p> <p>折 筋 2-(2-D13)</p> <p>縦 筋 S T 2-D13-100@</p>	<p>但し $\phi \leq D/3$ とする</p> <p>$100 \leq \phi \leq 150$</p> <p>折 筋 2-(2-D13)</p> <p>縦 筋 S T 2-D13-100@</p> <p>横 筋 2-(2-D13)</p>	<p>$150 \leq \phi \leq 250$</p> <p>斜 筋 4-(2-D13)</p> <p>縦 筋 S T 2-D13-100@</p> <p>縦 筋 2-(2-D13)</p> <p>上 下 縦 筋 S T 2-D13</p>
<p>$\phi < 250$</p> <p>孔補強の有効範囲と 定着長さのとり方</p> <p>※部分について計算で 確認された場合は右 記の位置、寸法によ れなくて良い。</p> <p>・梁幅が400を超える場合は、 補強筋でD13はD16又は、 2-D13は3-D13と、各々 読みかえる</p>		

(3) 既製品 (使用するときには、設計者及び工事監理者と打合せのこと)

☐ リング型
☒ MAX ウェブレン等

☐ 金網型
☐ 斜め筋
☐ 縦筋
☐ ST
☐ バイブ型
☐ プレート型

25 25 ST リング筋
 突出し 余長 有効範囲 $D + 2 \times (\text{余長} + \text{突出し})$ 溶接金網 L1

2. 増築予定（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する。）

(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査の検査成績書には、鉄骨の寸法、制度及びその他結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引き継ぎ、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアーガウジング機（直流） (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC)
- セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接 (NGC)
- ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- アークエアーガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部などの強度上、工作上、問題となし易い箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (ハ) 裏はつり側にする
- (ニ) ノンスラップ工法
- (ホ) 裏はつり
- 規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装しない

２．溶接規準図

(注) f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長 (単位mm)

(1) スミ肉溶接

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所注意)

(3) 突合せ溶接 (平継手 T型継手)

(4) フレアー溶接

◆BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

◆鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス温度差(℃)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

◆B.H方式

鉄骨構造標準図（２）

３．継手規準図

（１） ボルトピッチ（P）、 ボルト穴径・最小縁端距離

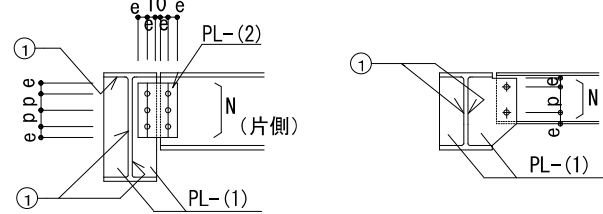
呼 び	ボルト 穴 径	最小縁端距離 (e) (mm)				ピッチ (P) (mm)	
		(1)	(2)	(3)	(2) (3) の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70

〔注〕(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離

(2) セン断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離

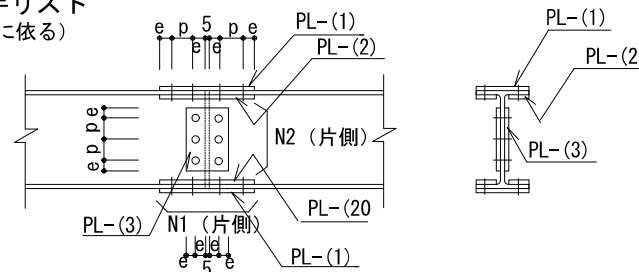
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこぎ縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

（２） ピン接合梁継手リスト 〔部材リストに依る〕



符 号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	2	H-150x75x5x7	6		2-M16
	2	H-175x90x5x8	6		2-M16
	2	H-200x100x5.5x8	6		2-M16
	2	H-250x125x6x9	9		3-M16
	2	H-300x150x6.5x9	9		3-M16
	2	H-350x175x7x11	12		3-M20

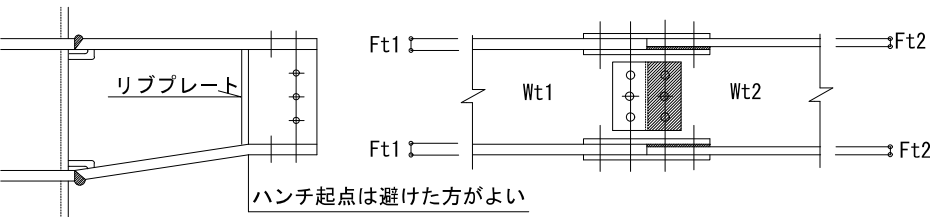
（３） 剛接合継手リスト 〔部材リストに依る〕



符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	H-200x100x5.5x8	16	—	4-M16	6	2-M16
	H-250x125x6x9	12	—	6-M16	6	2x2-M16
	H-300x150x6.5x9	9	9	6-M16	6	3-M16
	H-350x175x7x11	9	9	6-M20	6	3-M20
細幅	H-400x200x8x13	9	9	6-M20	9	4-M20
	H-450x200x9x14	12	12	6-M20	9	5-M20
	H-500x200x10x16	12	12	6-M20	9	5-M20
	H-600x200x8x13	12	12	8-M22	9	7-M22
	H-700x300x13x24	19	19	10-M22	12	9-M22
	H-800x300x14x26	19	19	12-M22	12	10-M22
	H-340x250x9x14	12	12	8-M20	9	2x3-M20
	H-390x300x10x16	12	12	8-M20	9	4-M20
中幅	H-440x300x11x18	12	12	8-M22	9	5-M20
	H-488x300x11x18	12	12	8-M22	12	5-M22
	H-588x300x12x20	16	16	8-M22	12	7-M22

（４） ハンチ部の継手

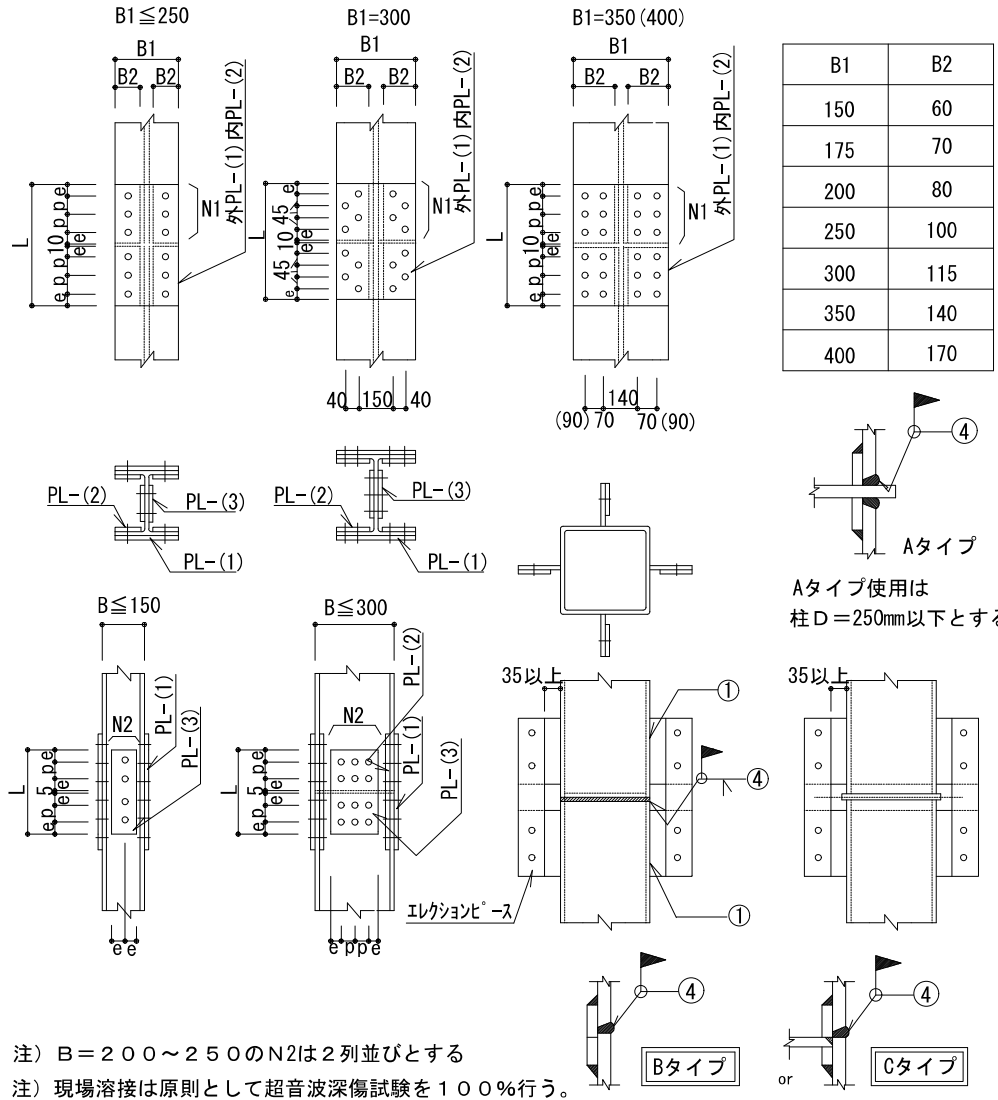
フランジ及ウェブ厚の差のある場合



ハンチ勾配は普通 1：４程度であるが構造図による

Ft1=Ft2 ≥ 1mm フィラプレート 併用のこと

（５） 柱継手リスト

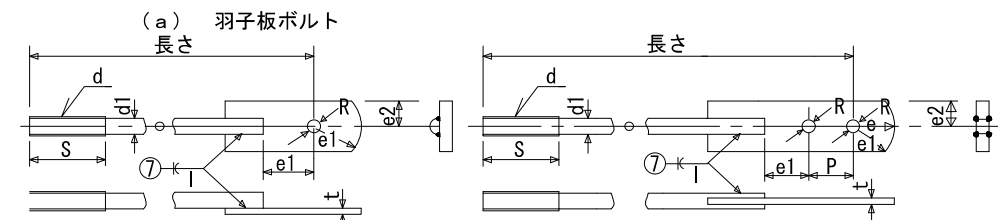


注) B=200~250のN2は2列並びとする

注) 現場溶接は原則として超音波深傷試験を100%行う。

符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	□-200	9.0	9.0	2-M16		
	□-250	9.0	9.0	2-M16		
	□-300	12.0	12.0	3-M16		
	□-350	12.0	12.0	3-M16		
	□-400	16.0	16.0	3-M20		
	□-450	16.0	16.0	3-M20		
	□-500	16.0	16.0	3-M20		

（６） 鉄筋ブレース(JIS規格品とする・・・JIS A 5540~5542・・・1982)



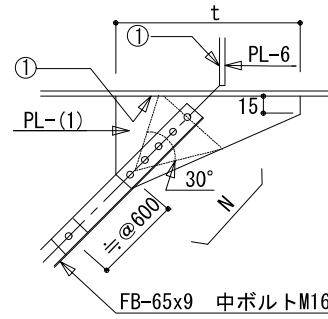
ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d 1	最 大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最 小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S		100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差+0. -0.5mm		R 13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小) (2) e1		35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (1) e2	22	28	28	34	34	38	38
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき (1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小) e3	47	52	59	66	66	73	70	
	溶接長さ (最小) l	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種 類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本 数	1	1	1	1	1	1	2

注 (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい

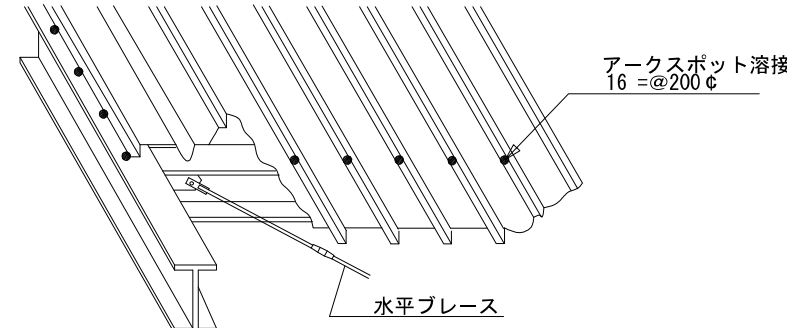
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

（b） 形鋼ブレース

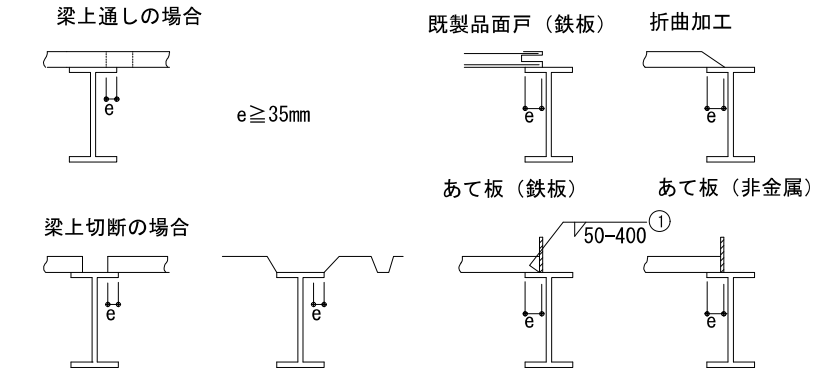
符 号	部 材	PL-(1)	N-径	I



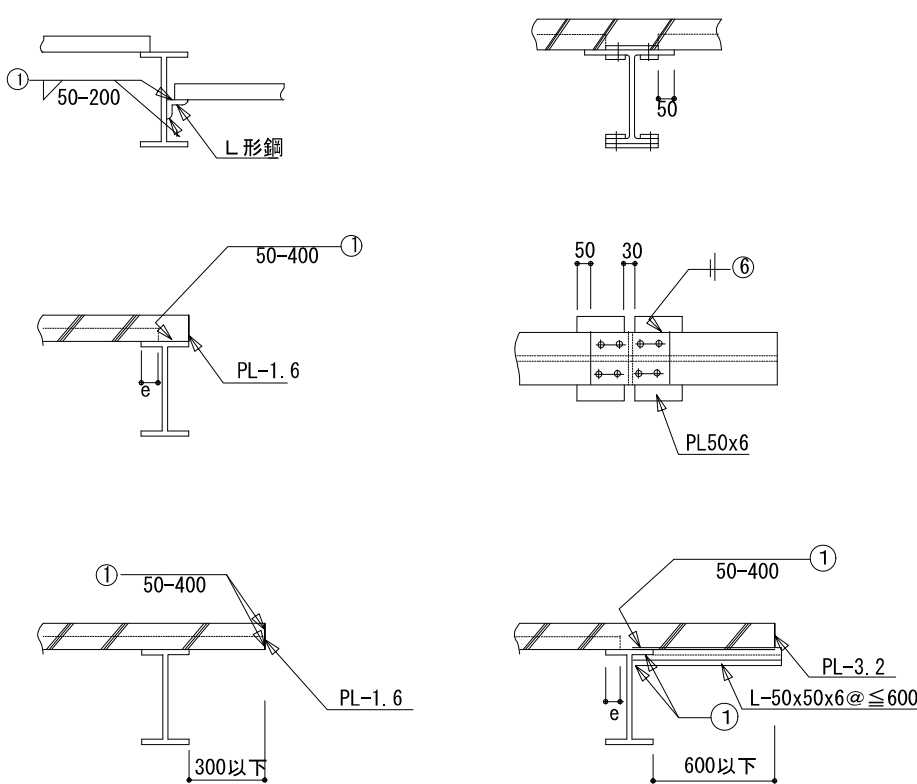
（７） デッキプレート (床剛性を考慮する剛成床、合成は理のときは構造図参照) 梁との溶接およびコネクター



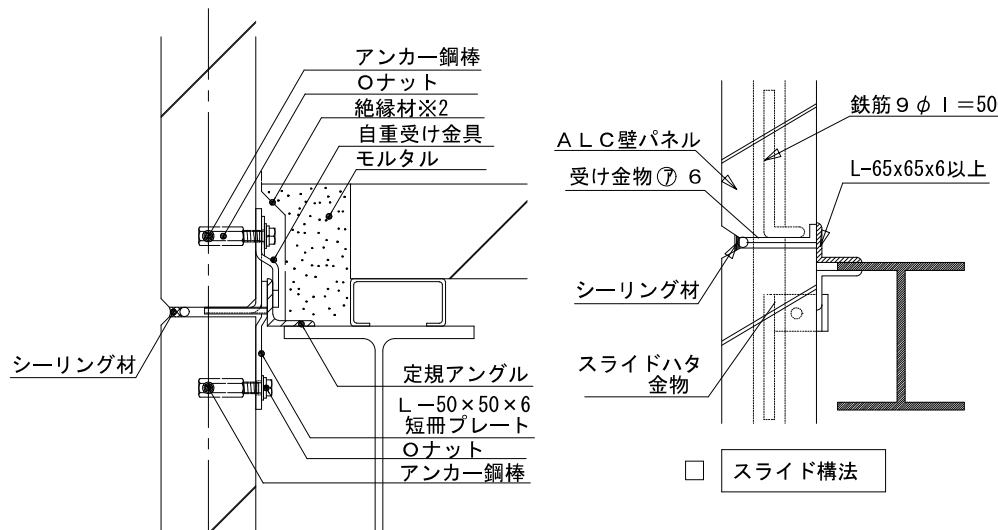
受梁へのかかり寸法および端部処理



スラブ端部の補足材

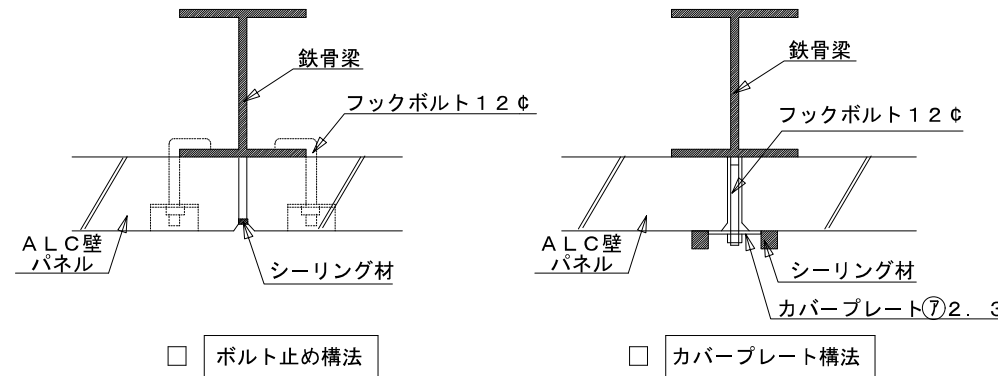


（８） ALC板取付要領 縦壁構法



■ 縦壁ロッキング工法

横壁構法



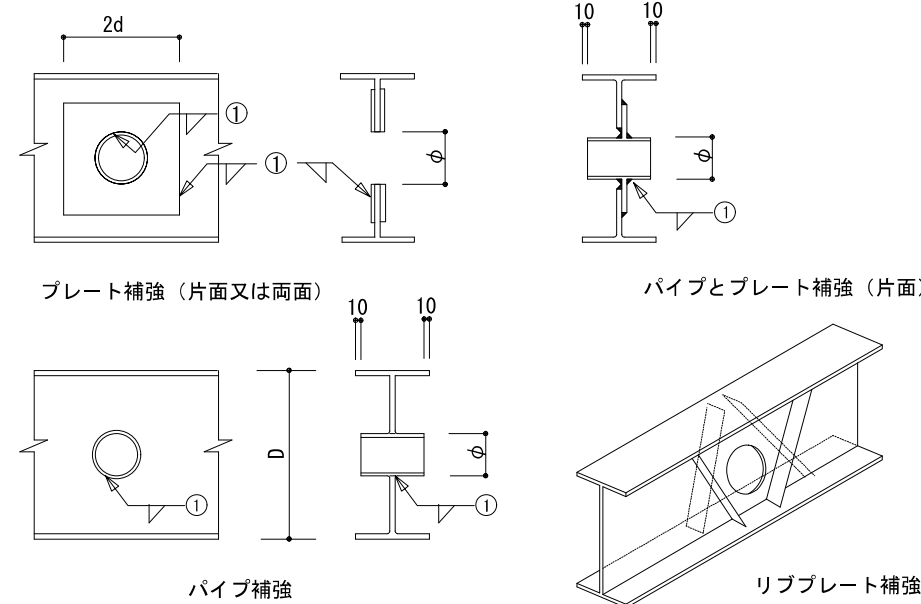
（９） 頭付きスタッド (JIS 1198)

スタッド材の標準形状・寸法

形状	ス タ ュ ッ ド 材				
	呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
	φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
	φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
	φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
	φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

（１０） 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
- 梁端部 (スパンの1/10以内かつ2以内) は避ける
- φ ≤ 0.4D



（１１） その他

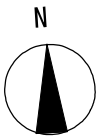
- ・外壁はアスロックタテ張り工法、幅600：Zグリップ工法幅900：W型Zグリップ工法 (許容層間変形角1/100)

工事区分表

※ 電気、機械は別途工事とする。
区分は○印を適用する。●印がある場合は●印を適用する。

[illegible]

NOTE SCALE (A 2 版) * 7 1 % (A 3 版)		PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事		TITLE 工事区分表	
一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社					
一級建築士事務所 広島県知事登録第18(1)5276号 一級建築士 中藤哲也 大分県登録第333593号 広島事務所 〒730-0004 広島県広島市西区中津町8-15(サントレジスビル) TEL: 082-643-4602 / FAX: 082-643-4603		JOB_NO	APPD.	CHKD.	DWN.
		DATE	2023. 12. 01	SCALE	—
		DWG_NO	D-008		



計画敷地
広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1

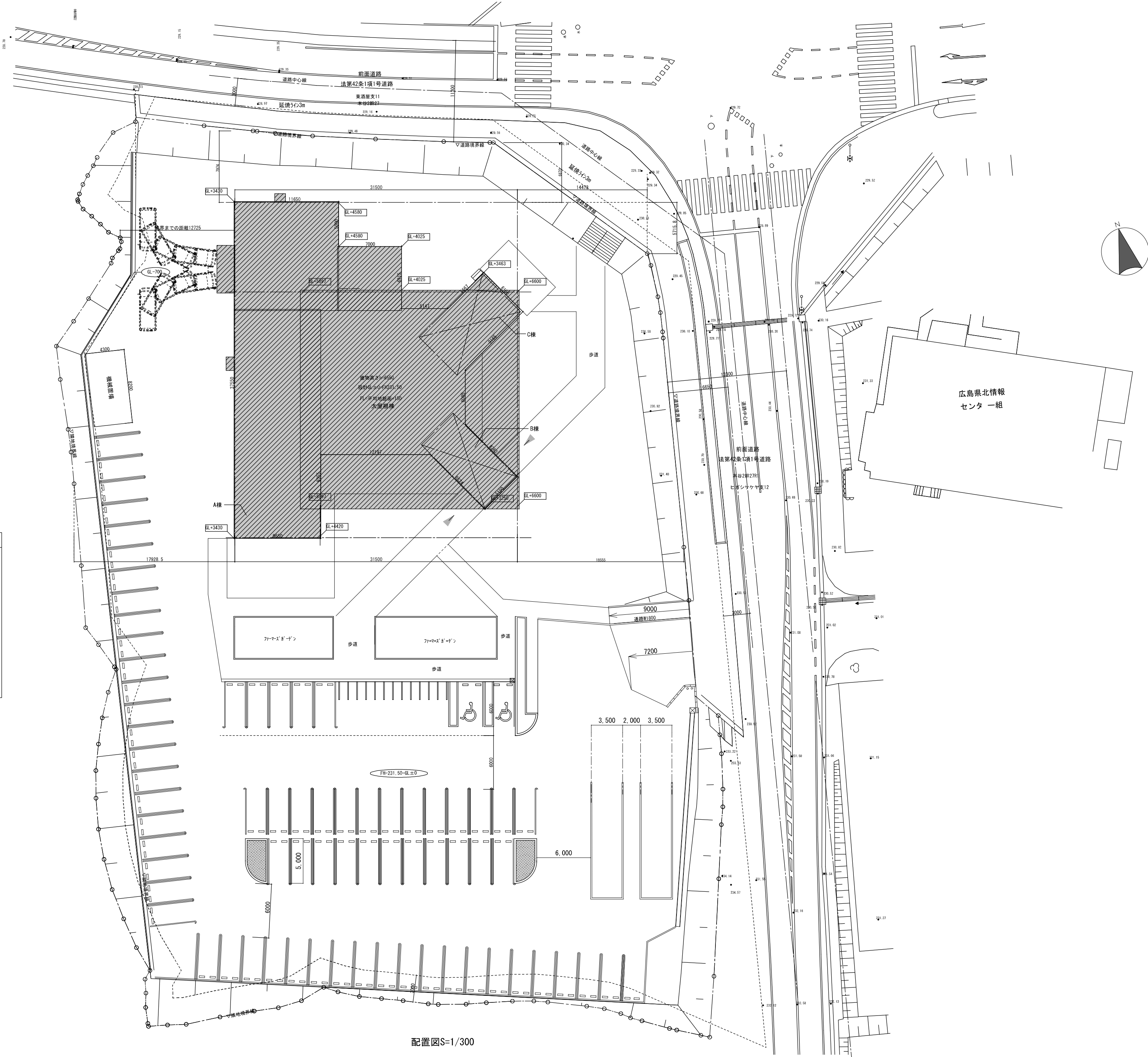
付近見取図 S=1/25000

工 事 概 要	
工事名称	三次市農業交流連携拠点施設建築工事に伴う実施設計業務
工事場所	広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1
工事種目	新築工事
敷地面積	6,328.63㎡
構造規模	木造 一階建

凡例

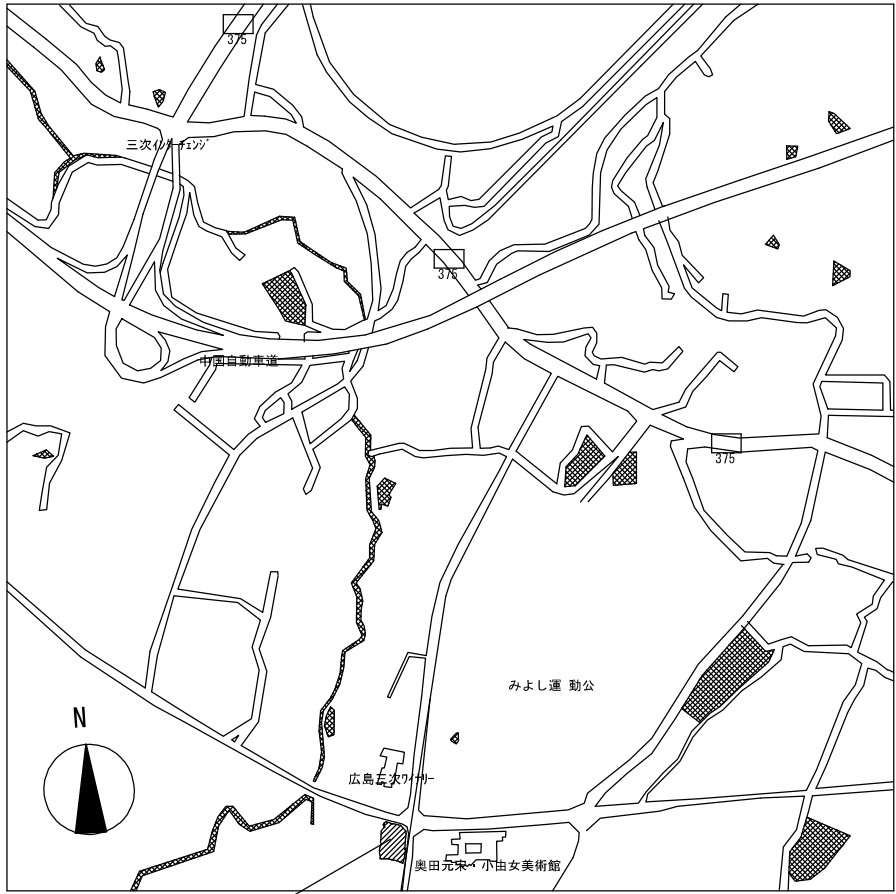
	新築建物範囲
	延焼ライン
	建物入口
	デッキ

※道路斜線は明らかに欠けているため省略する



配置図S=1/300

NOTE				PROJECT TITLE				TITLE			
・SCALE (A 2 版) × 7 1 % (A 3 版)				三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				配置図 (既存)			
一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社				JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/300
広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1 広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1 TEL: 082-643-4802 / FAX: 082-643-4802								DWG. NO	D-010		



計画敷地
広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1

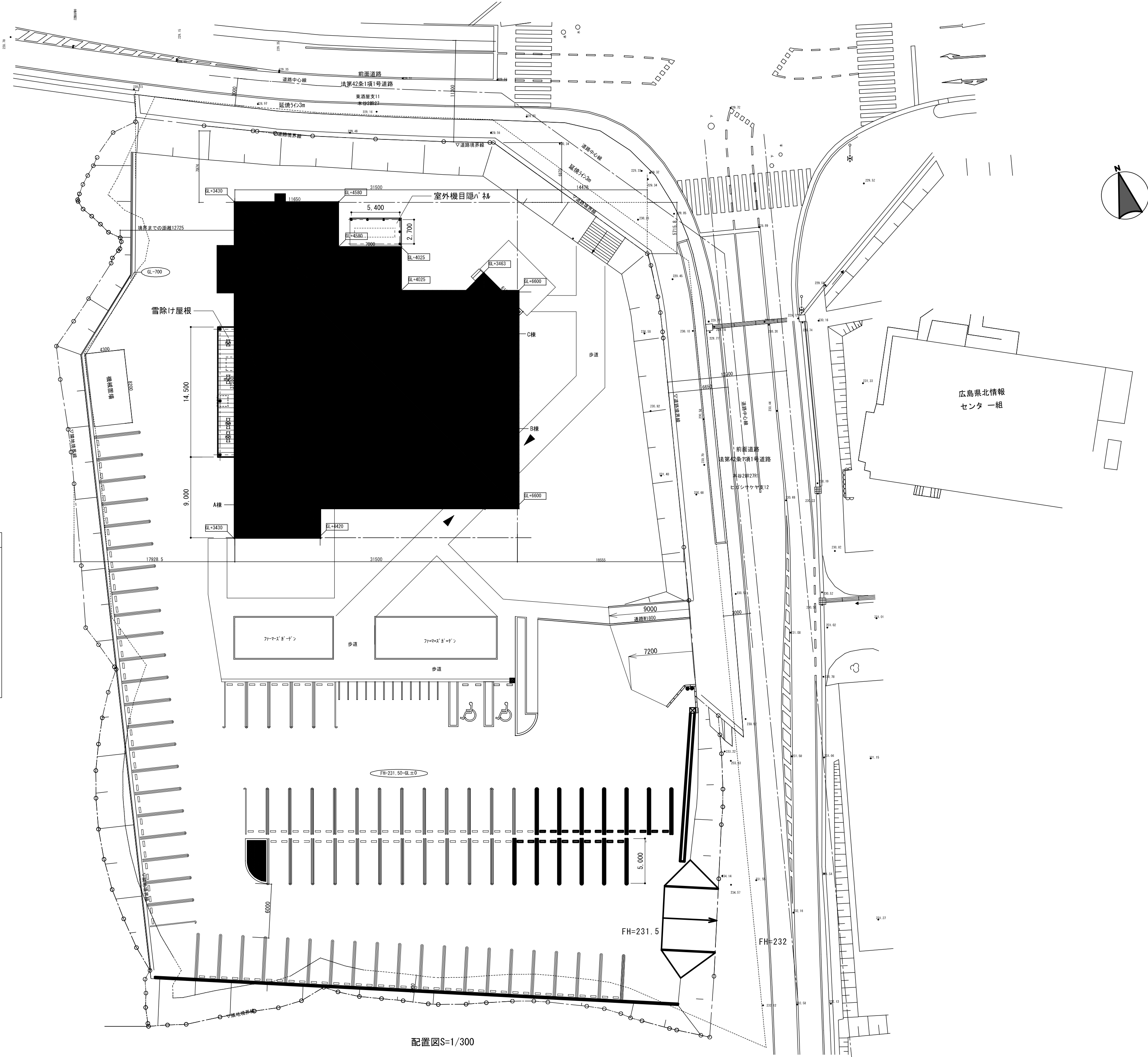
付近見取図 S=1/25000

工 事 概 要	
工事名称	三次市農業交流連携拠点施設建築工事に伴う実施設計業務
工事場所	広島県三次市東酒屋町 437-1, 437-2, 437-8, 437-9, 438, 439-1
工事種目	新築工事
敷地面積	6,328.63㎡
構造規模	木造 一階建

凡例

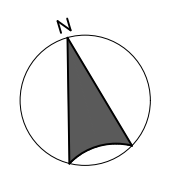
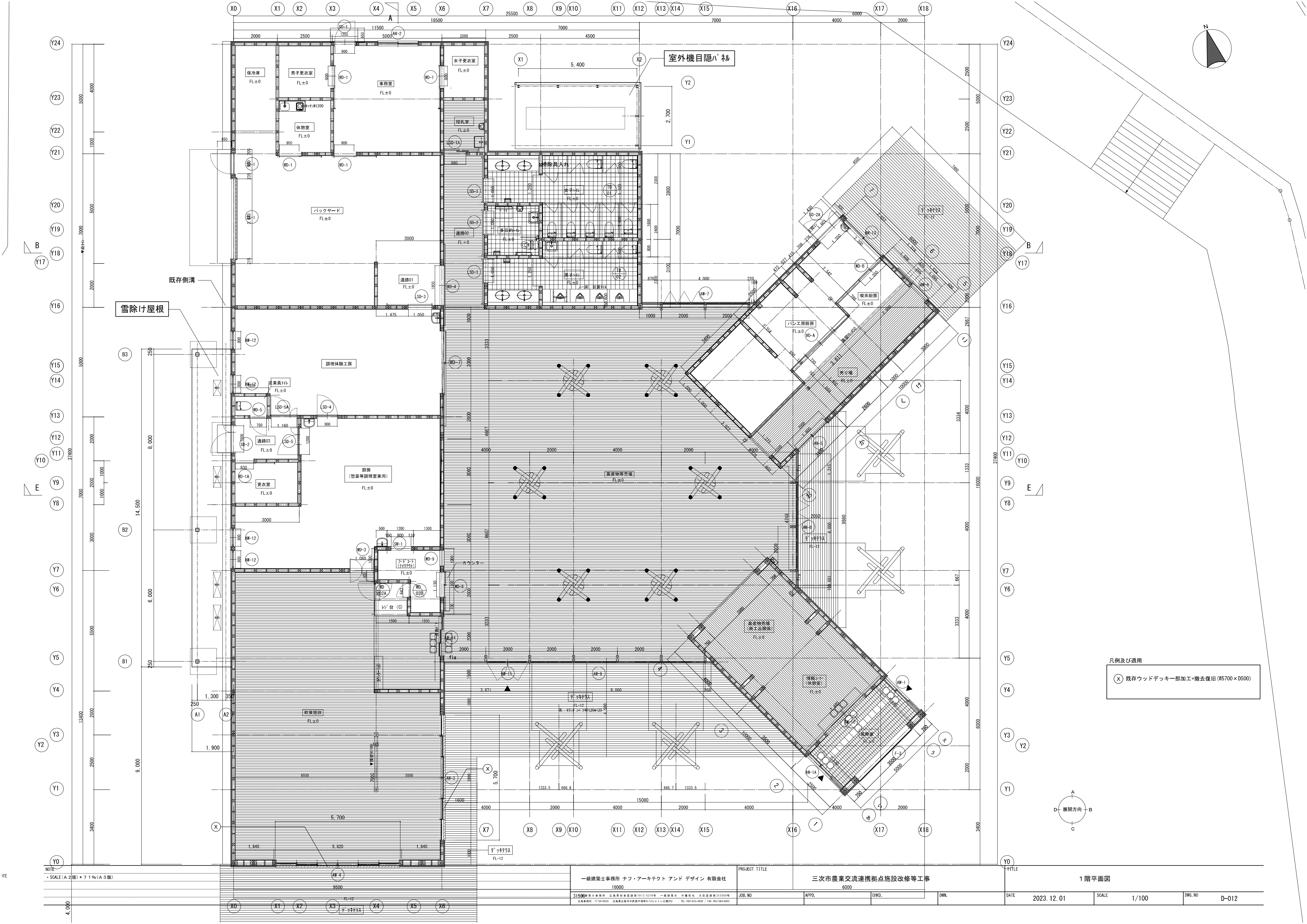
	新築建物範囲
	延焼ライン
	建物入口
	デッキ

※道路斜線は明らかに欠けているため省略する



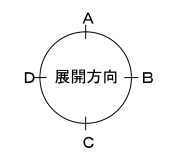
配置図S=1/300

NOTE				PROJECT TITLE				TITLE			
・SCALE (A 2 版) × 7 1 % (A 3 版)				三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				配置図（改修後）			
一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社				JOB, NO	APPD.	DRD.	OWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/300
広島事務所：〒730-0004 広島県広島市中区西町1-12-1 ナフビル203 TEL: 082-643-4802 / FAX: 082-643-4803								DWG. NO	D-011		

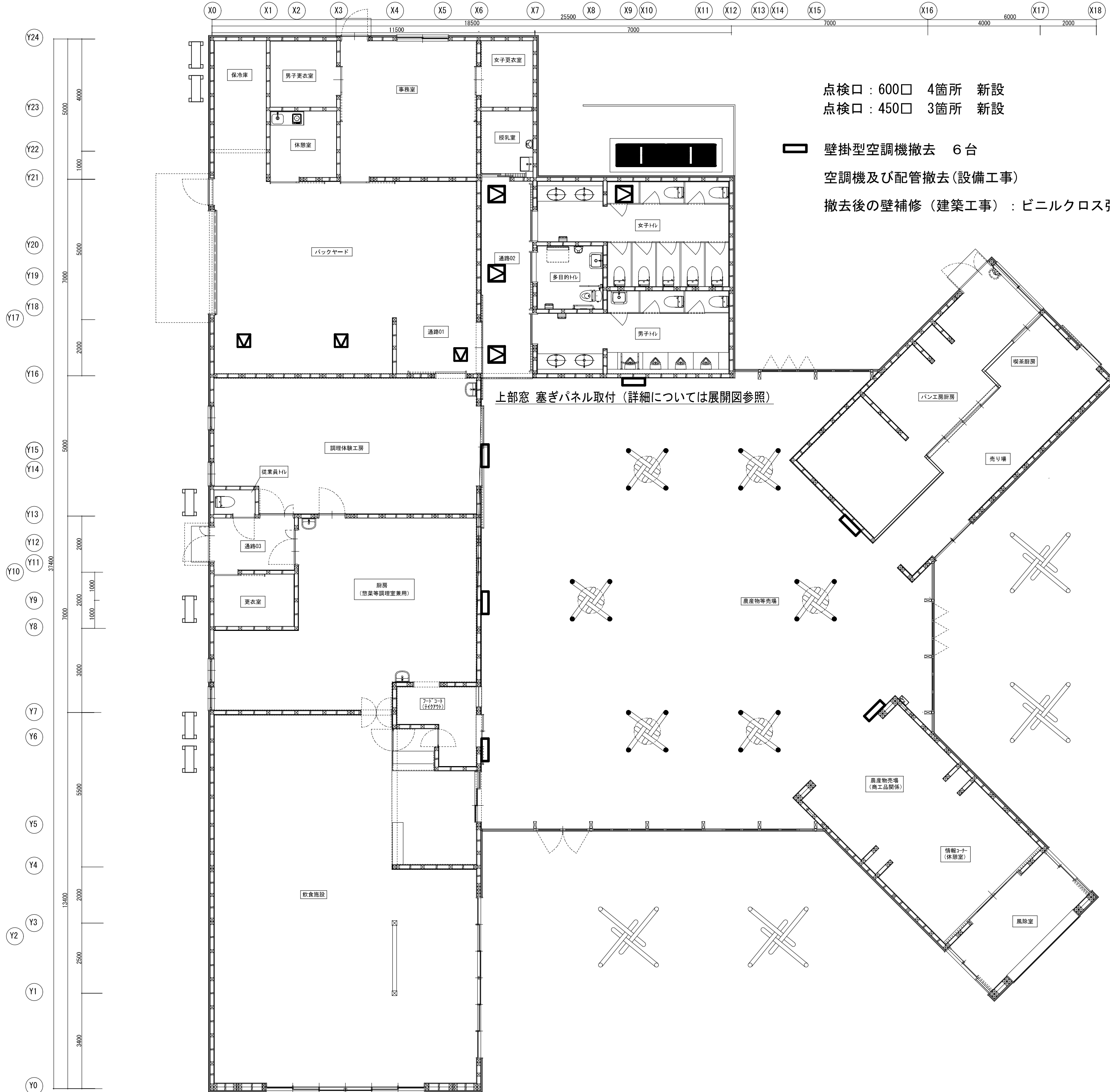


凡例及び適用

(X) 既存ウッドデッキ一部加工+撤去復旧 (W5700×D500)



NOTE		一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社		PROJECT TITLE		三次市農業交流連携拠点施設改修工事		1 階平面図	
・ SCALE (A 2 版) × 7 1 % (A 3 版)		16000		6000					
31500		JOB. NO		APPD.		CHKD.		DWN.	
広島県広島市中区紙屋町1-12-10 電話 082-843-4802 FAX 082-843-4803		DATE		2023. 12. 01		SCALE		1/100	
								DWG. NO	
								D-012	



点検口：600□ 4箇所 新設
点検口：450□ 3箇所 新設

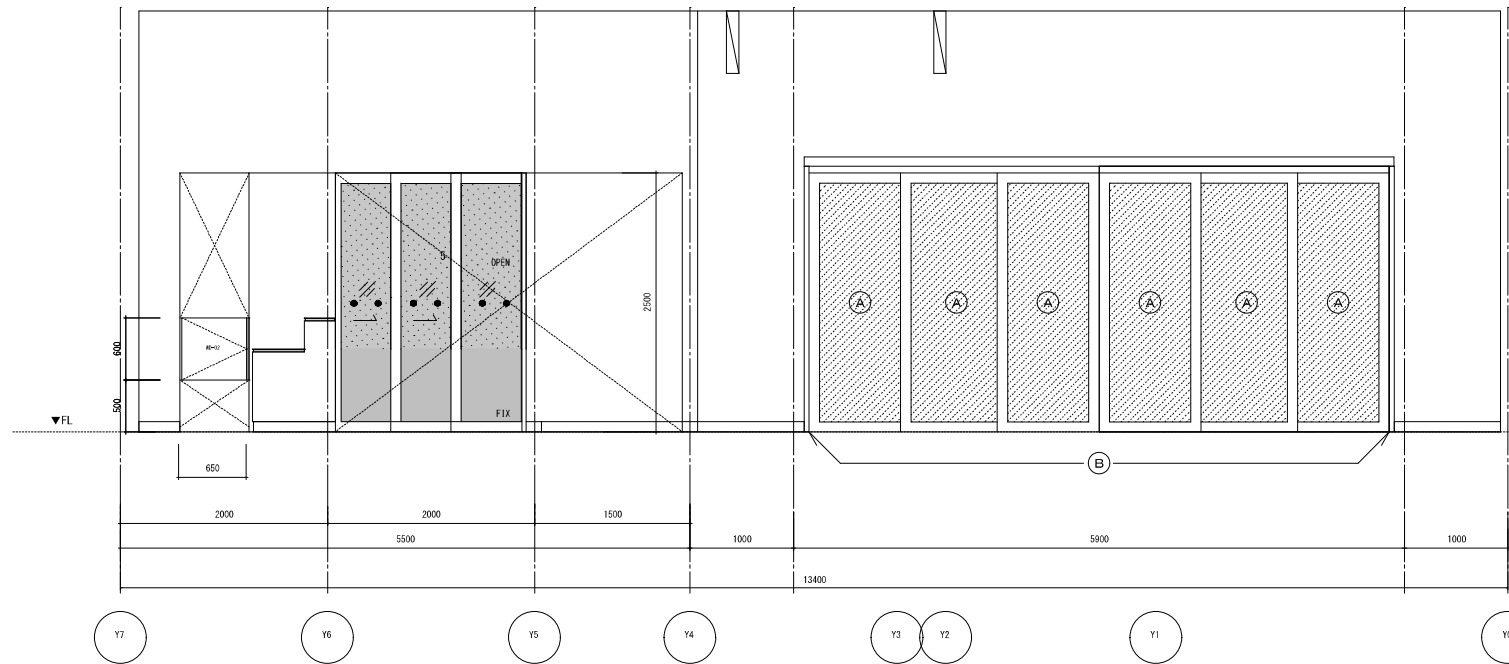
壁掛型空調機撤去 6台

空調機及び配管撤去(設備工事)

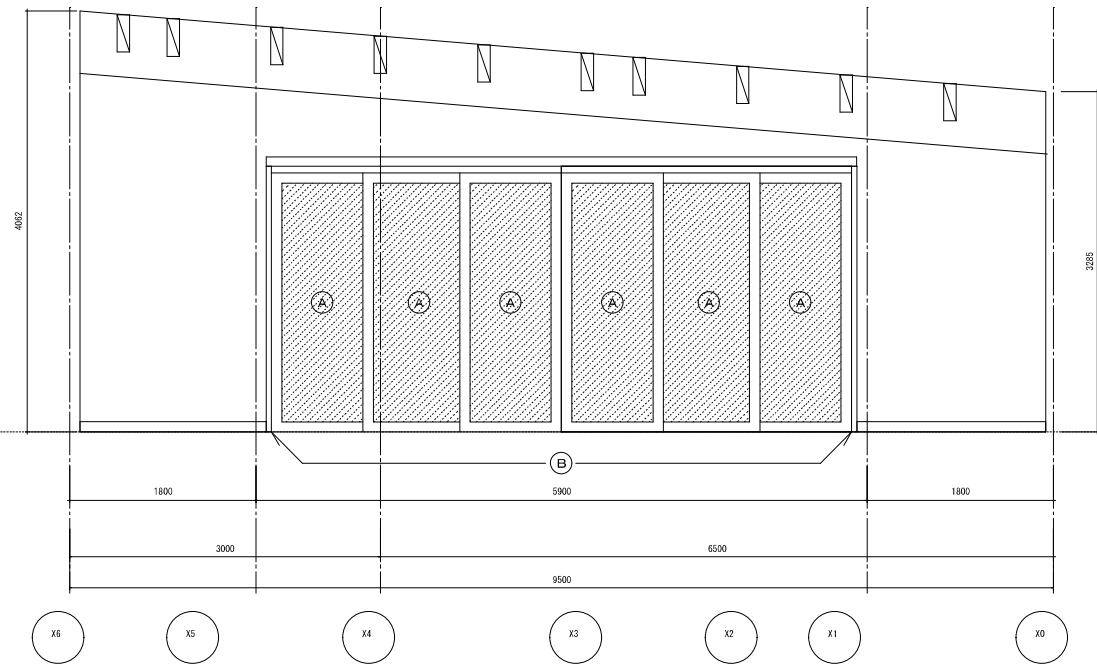
撤去後の壁補修(建築工事)：ビニルクロス張替W1500×H1000(パテ補修含む)

上部窓 塞ぎパネル取付(詳細については展開図参照)

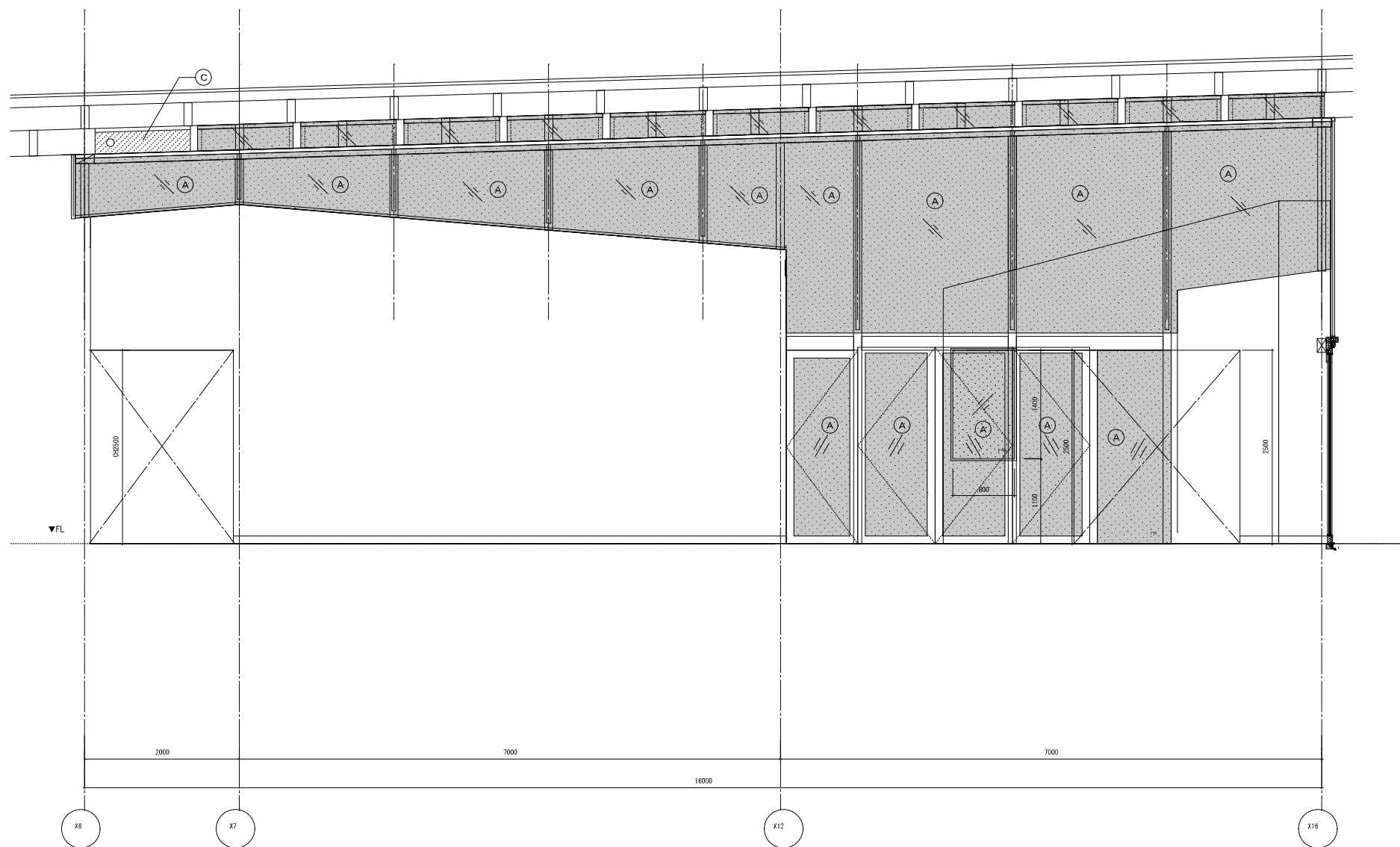
NOTE ・SCALE(A 2版)×7 1%(A 3版)	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社			PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 設備工事に伴う内装改修図			
	一級建築士事務所 広島県知事登録第15(1)5276号 一級建築士 中瀬智也 大正倉庫第312589号 広島事務所：〒730-0024 広島県広島市中区紙屋町1-12-1 ナトリビル203 TEL: 082-543-4802 / FAX: 082-543-4803			JOB. NO.	APPD.	DRD.	OWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/100
								DWG. NO.			D-013



飲食施設 B面展開図 S=1/50



飲食施設 C面展開図 S=1/50

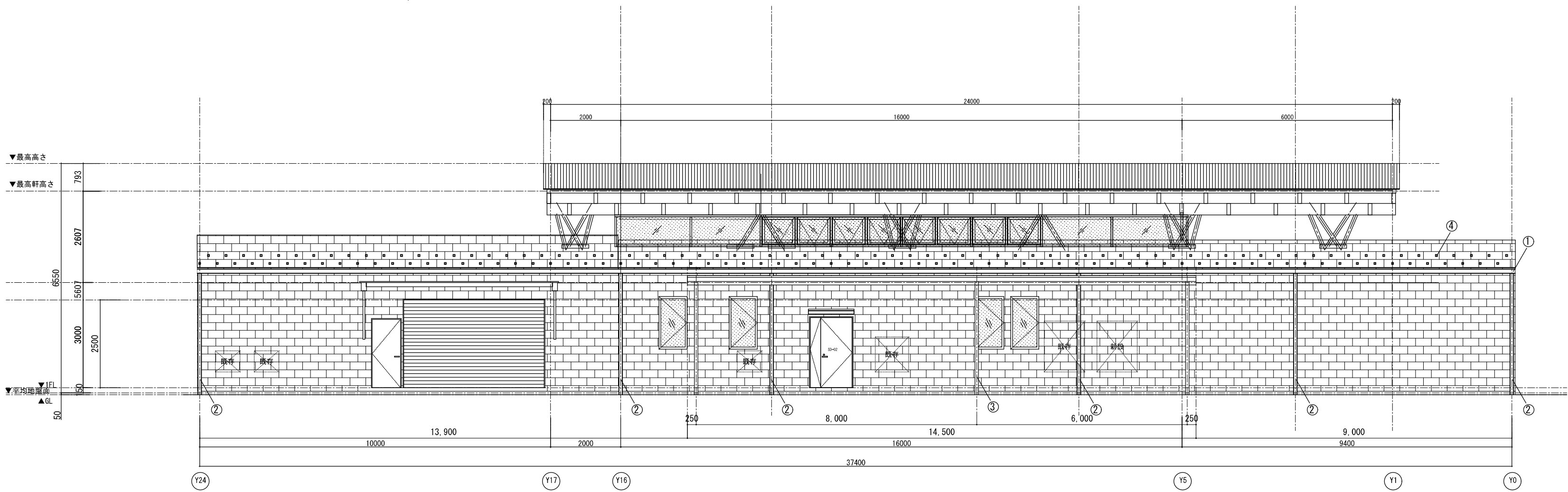


農産物等売場 A面展開図 S=1/50

凡例及び適用

- (A) ウィンドウフィルム新規貼り (3M: ナノ70)
- (B) 既存アルミサッシ下枠SUS-HLt1.5 L-15 x 15設置
- (C) 既存フロートガラスt5撤去後
アルミパネル(シルバー t3) 取替+100φ穴空け
- : 本工事範囲

NOTE ・SCALE (A 2 版) * 7.1 倍 (A 3 版)	PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 展開図		
	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社				DATE	2023. 12. 01	
	一級建築士事務所 広島県知事賞受賞第11(11)3374号 一級建築士 平岡哲也 大田良博 第313559号 広島市南区 〒730-0024 広島県広島市南区南区内町4丁目1-15 五福203 TEL 082-543-4802 / FAX 082-543-4802				SCALE	1/50	DWG. NO D-015

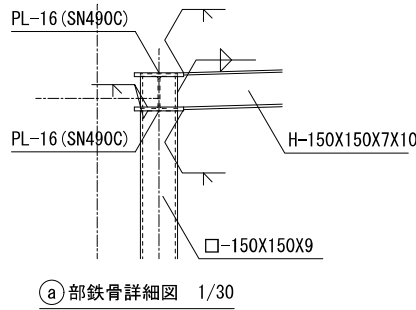


西側立面図S=1/100

- 凡例及び適用
- ① 軒樋：塩ビ製角樋150×H120勾配3/1000以上
超芯シリーズP型／排水化学同等品
 - ② 壁構：WU100
 - ③ 窓枠付扉・窓：設計図参照
 - ④ 窓留め金物：φ500×2列

NOTE ・SCALE(A 2版) × 7 1%(A 3版)	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社		PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 立面図			
	一級建築士事務所 広島県知事登録第19(1)5276号 一級建築士 中瀬智也 大正登録第312589号		JOB, NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/100
	広島事務所：〒730-0024 広島県広島市中区西中町南5-125-1 トリニティビル203 TEL: 082-543-4802 / FAX: 082-543-4803								DWG. NO	D-014

鉄骨部材
特記外は下記による
□：STKR400
H：SS400
○：STK400
B.PL.S.PL：SS400
HTB：F8T



基礎
サイズ：1500×1600×300
主筋：D13#200 (上下) タテヨコ共

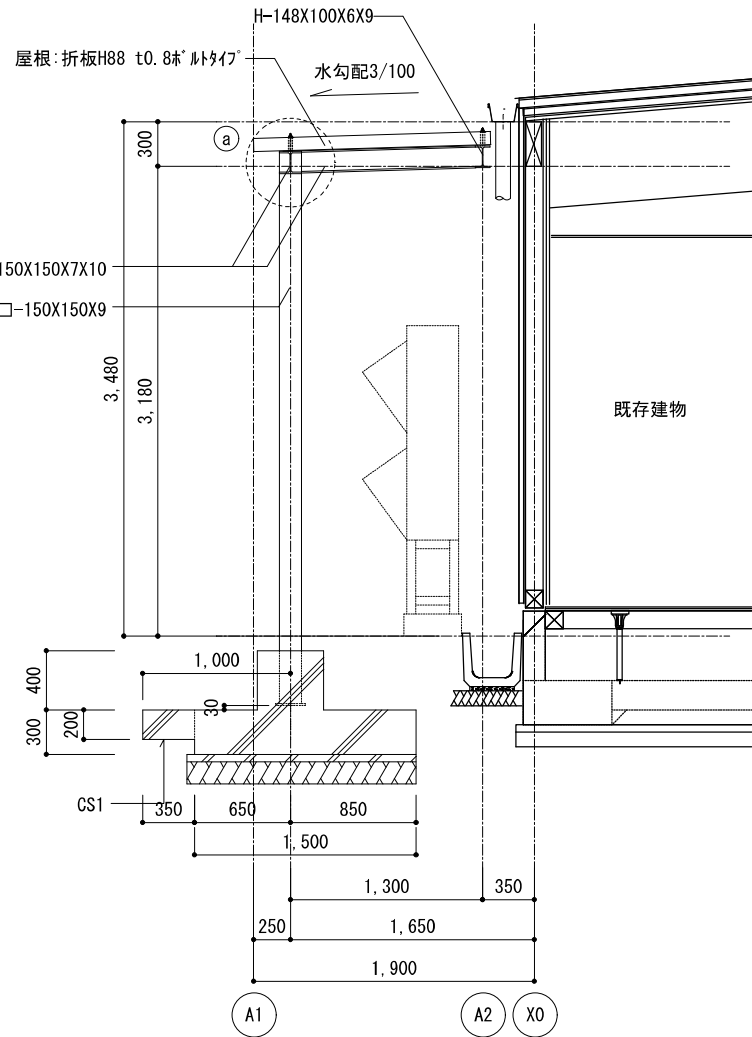
根巻
サイズ：450×450×400
主筋：8-D16 (SD295)
フープ：D13#100

CS1
サイズ：350×1600×200
主筋：D13#200 (上下) タテヨコ共

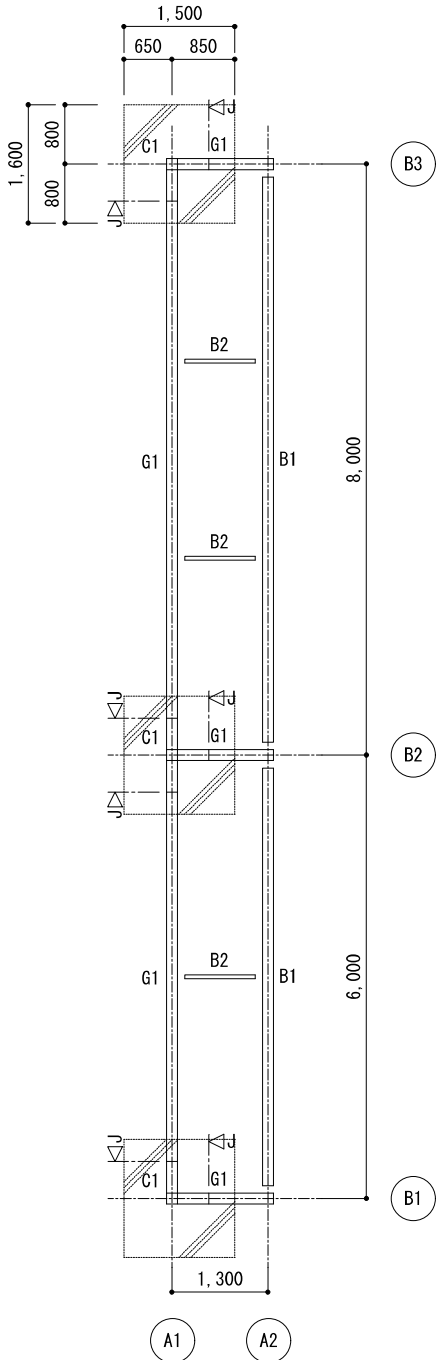
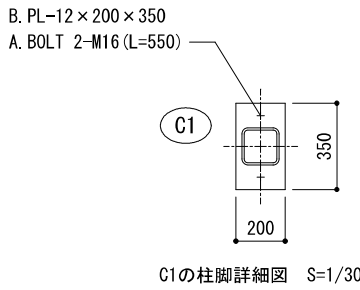
コンクリート強度：Fc21

地業
捨てコン：50
砕石：150

部材リスト
C1：□-150X150X9
G1：H-150X150X7X10
B1：H-148X100X6X9 (B.PL-6 HTB 2-M16)
B2：H-100X50X5X7 (B.PL-6 HTB 2-M16)

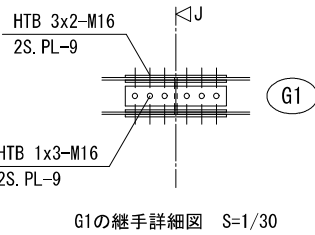


雪除け屋根 矩計図 S=1/50



雪除け屋根 屋根伏図 S=1/100

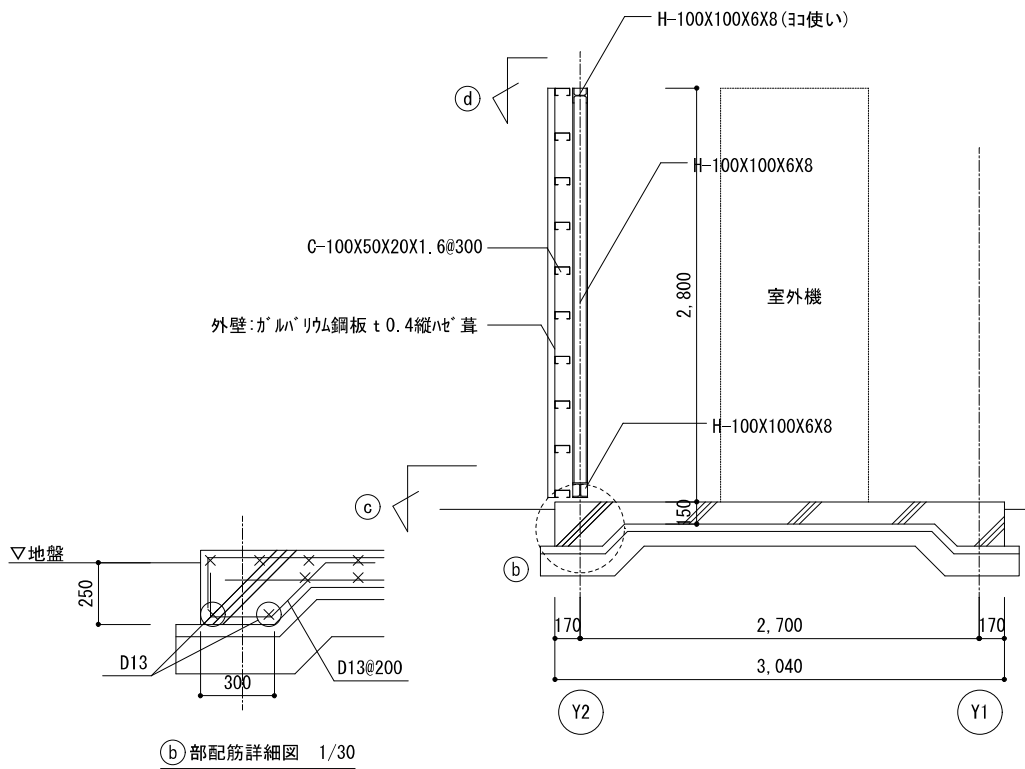
※◁J はG1の継手位置を示す (運搬可能であれば 省略しても良い)
継手位置は 柱芯から500 とする



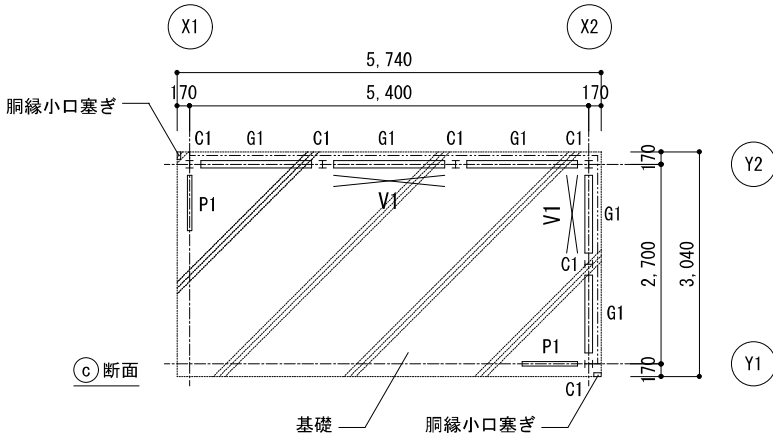
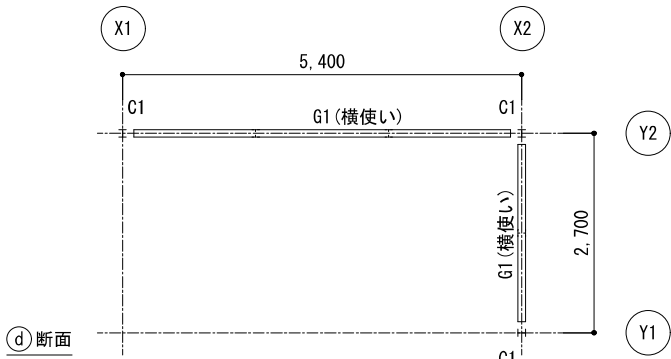
基礎
サイズ：3040X5740 t150
配筋：D13#200ダブルクロス
コンクリート強度：Fc21

部材リスト
C1：H-100X100X6X8
P1 (控え柱)：○-Φ60.5X3.2
G1：H-100X100X6X8 (B.PL-6 HTB 2-M16)
V1：1-M16 (たすき掛け)
ヨコ胴縁：C-100X50X20X1.6#300
胴縁小口塞ぎ：C-100X50X20X1.6
C-100X50X20X1.6 端部：PL-4.5 2-M12 (中#11)
継手：PL-4.5 4-M12 (中#11)
胴縁受 (※)：L-90X90X6 程度

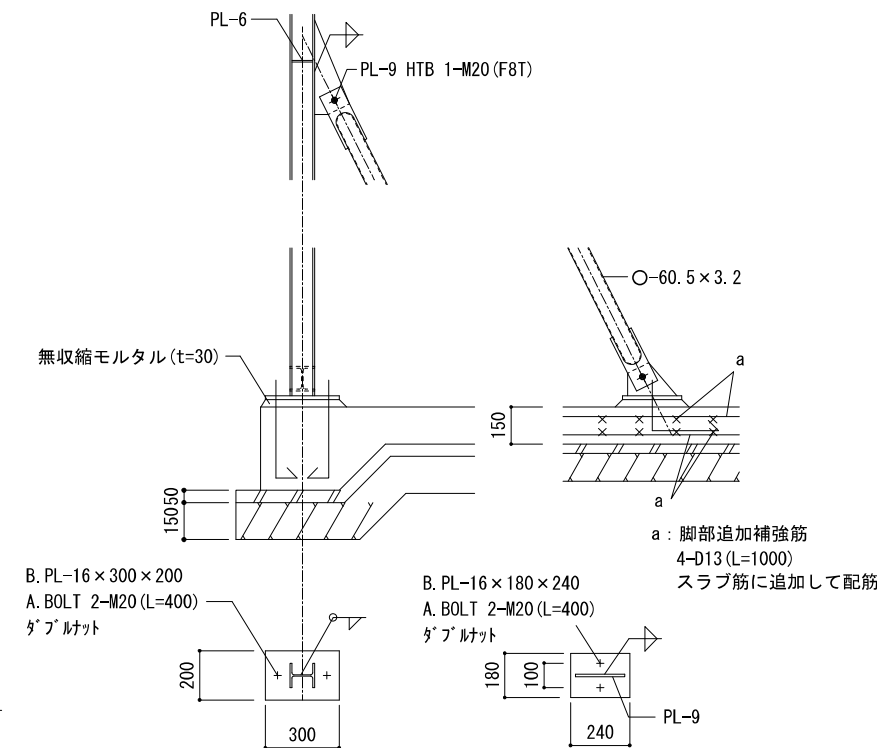
地業
捨てコン：50
砕石：150



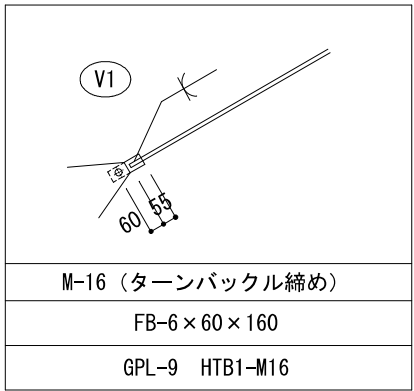
室外機目隠パネル 矩計図 S=1/50



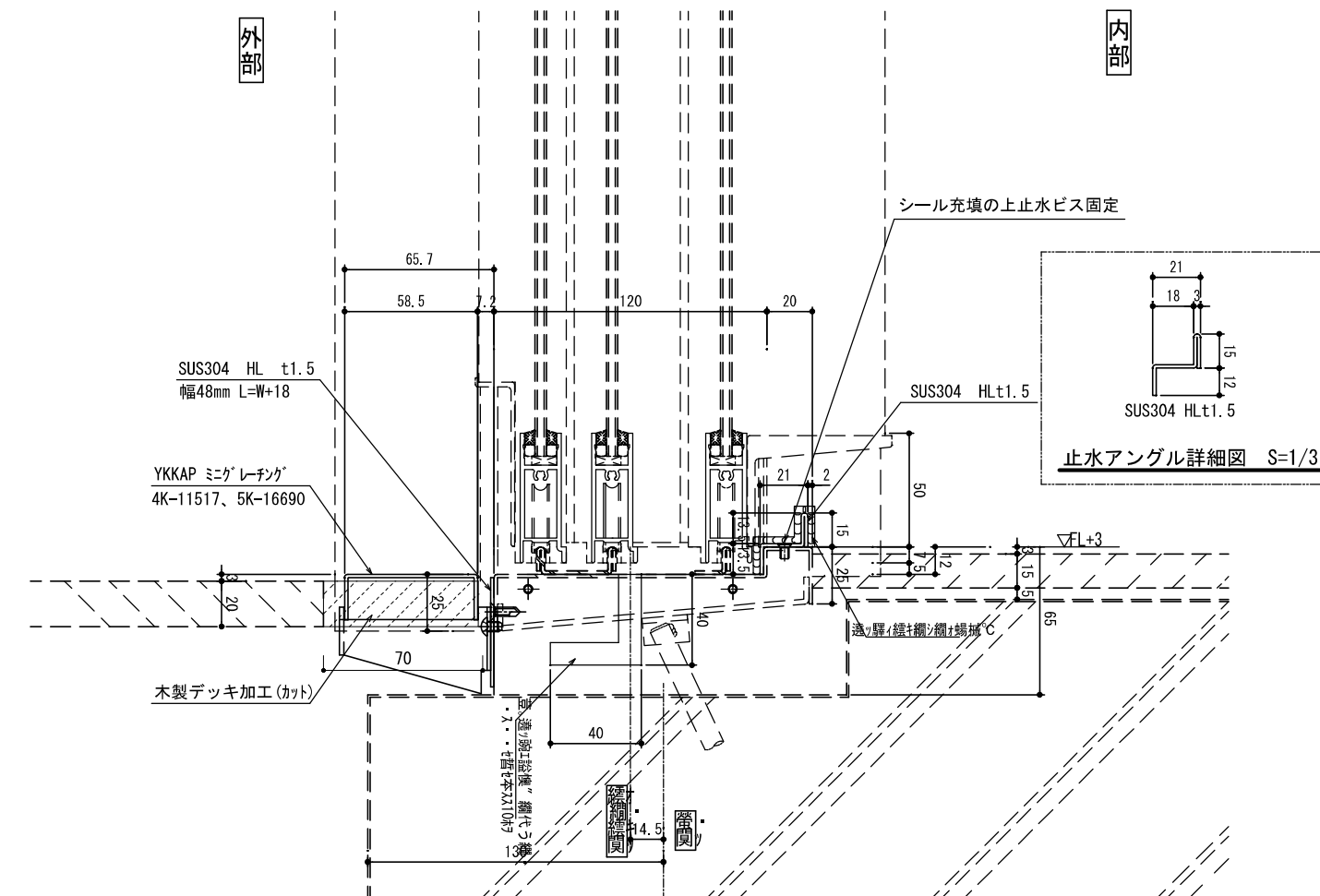
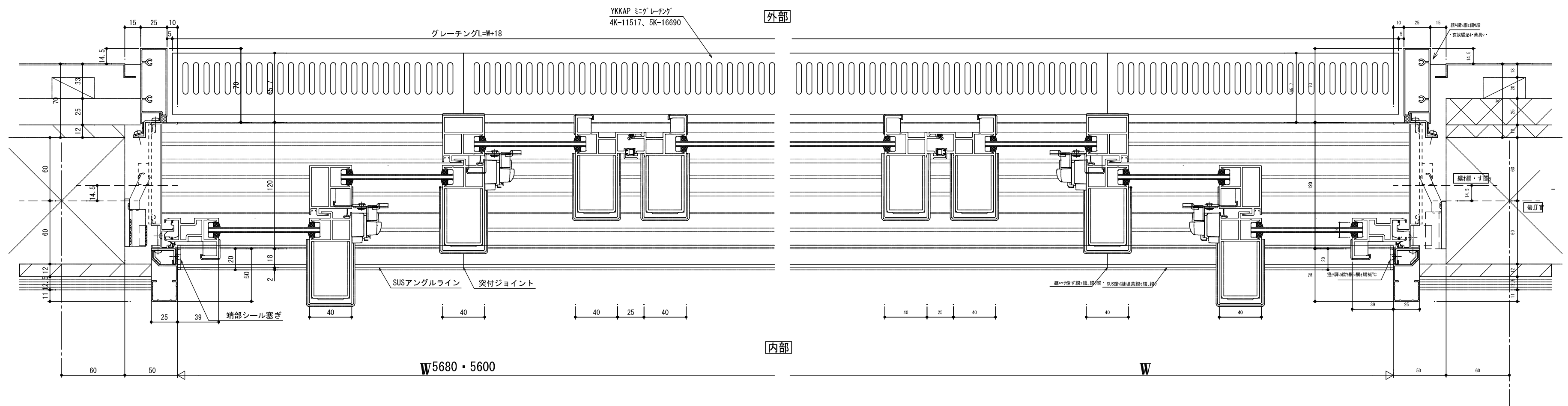
室外機目隠パネル 伏図 S=1/100



鉛直ブレースリスト S=1/30



NOTE ・SCALE (A 2 版) × 7 1 % (A 3 版) ・鉄部は特記なき限り20E塗装とする。	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社			PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事			TITLE 雪除け屋根・室外機目隠パネル 詳細図		
	一級建築士事務所 広島県知事登録第19(1)5276号 一級建築士 中瀬哲也 大田登録第312559号 広島事務所：〒730-0024 広島県広島市中区西中町南5-12-5 ャトリビル203 TEL: 082-643-4802 / FAX: 082-643-4802			JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01
								SCALE	1/30, 1/50, 1/100
								DWG. NO	D-016



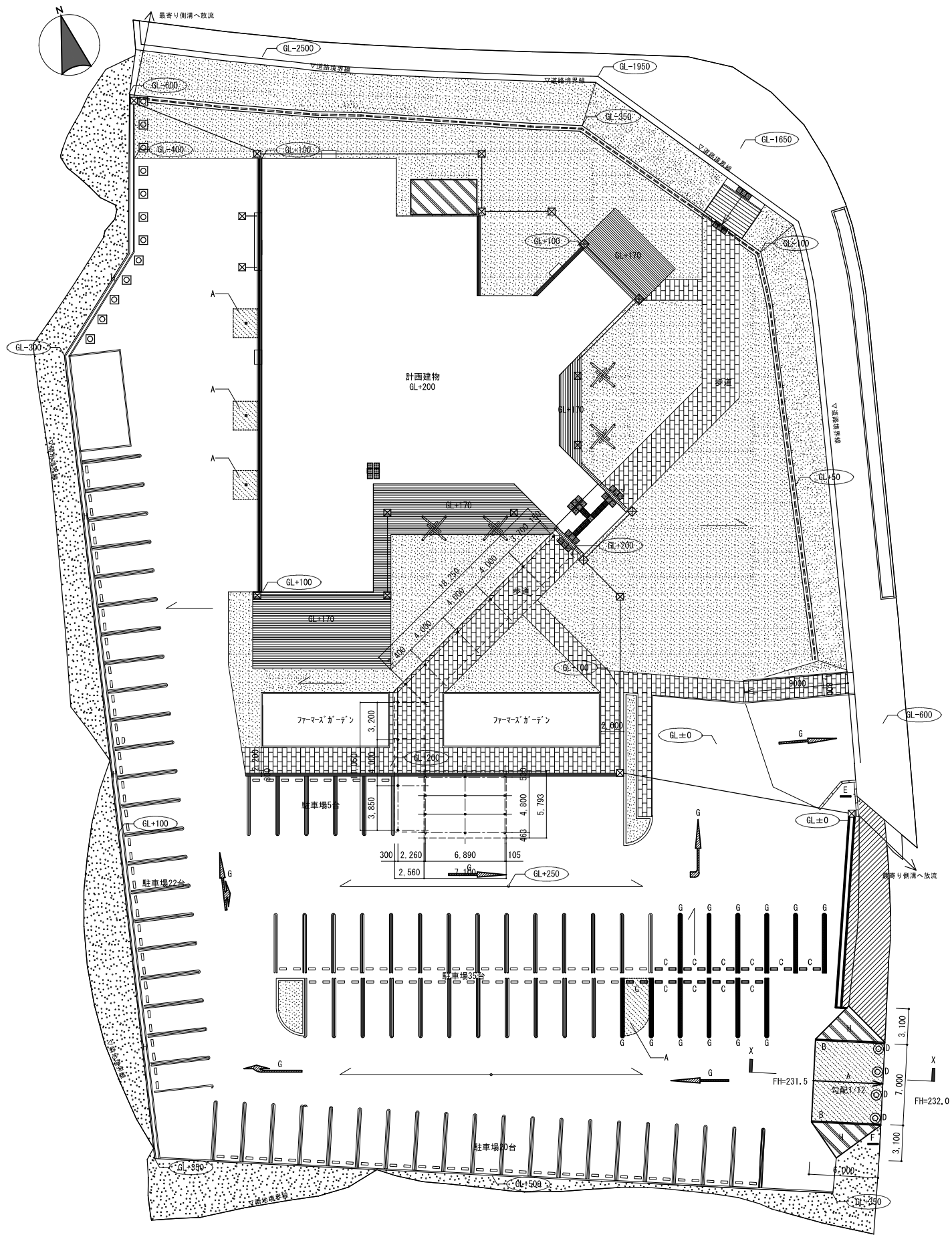
NOTE ・SCALE (A 2 版) ・ 7 1 号 (A 3 版) ・鉄筋は特記なき限り2UE並設とする。		PROJECT TITLE 一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社				PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE グレーチング・止水アングル 詳細図			
一級建築士事務所 広島県広島市東区南11-52-16号 一級建築士 中野智也 大田正樹第311593号 広島事務所 〒730-0024 広島県広島市中区紙屋町東側6-12(2)ビル2階202 TEL: 082-643-4802 / FAX 082-643-4803		JOB. NO	APPD.	CHGD.	DWNL	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/3	DWG. NO	D-017		



※ 雨水枡と雨水埋設配管は機械設備工事（別途工事）とする。



NOTE ・ SCALE (A 2 版) ・ 7 1 % (A 3 版)	一級建築士事務所 サフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社	PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 外構図 (既存＋撤去)					
	一級建築士事務所 広島県広島市東区18-11-5274番 一級建築士 中瀬哲也 入居登録第313549号 広島事務所 〒730-0024 広島県広島市中区東区東横町4-12(シティエス三樓201) TEL: 082-543-4402 / FAX: 082-543-4403	JOB. NO	APPO.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/5, 10, 15, 300	DWG. NO	D-018

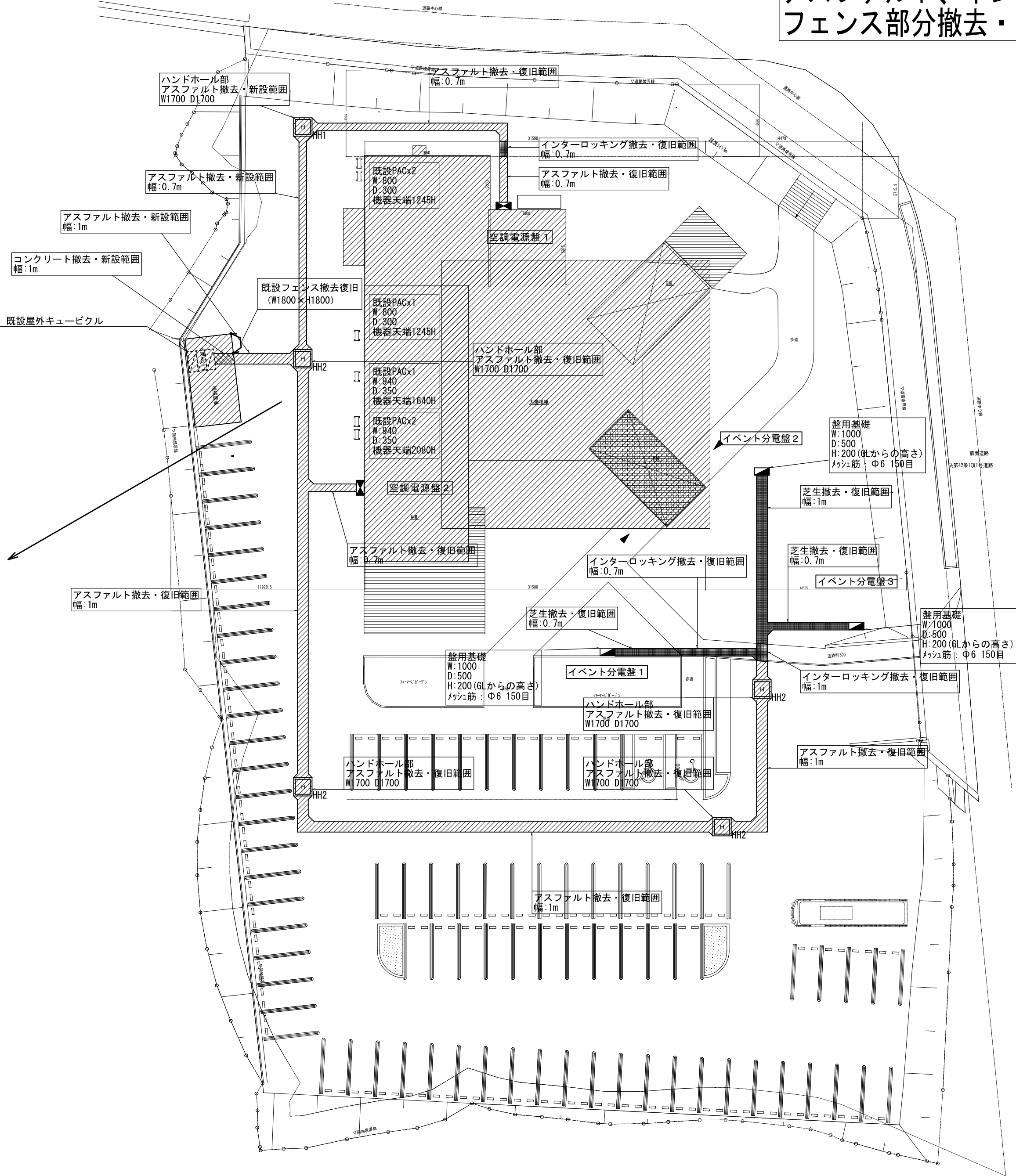
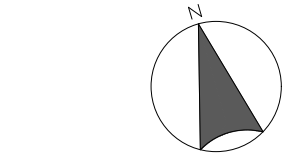


外構配置図S=1/300

凡例		
	アスファルト t50	
	緑石 (歩車道境界) ロック	
	コンクリート製車止め	
	パブリック (上下式アスファルト)	
	駐車場入口用サイン	
	駐車場出口用サイン	
	白線 (駐車場: W100)	
	新設コンクリート金コシ押え	

A アスファルト S=1/10		B 緑石 (歩車道境界) ロック S=1/10		C コンクリート製車止め S=1/15	
D 上下式アスファルト (アスファルト付) /本数: 4本 S=1/20		E 駐車場入口用サイン S=1/15		F 駐車場出口用サイン S=1/15	
G コンクリート舗装 S=1/10		H		I	

アスファルト、インターロッキング、コンクリート、芝生、フェンス部分撤去・復旧範囲、盤用基礎



配置図S=1/300

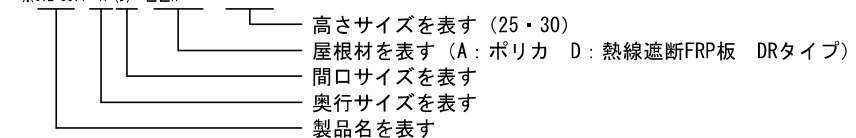
NOTE		PROJECT TITLE				TITLE			
・SCALE (A 2 版) × 7 1 % (A 3 版)		三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				設備配管工事に伴う外構改修図			
一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社		JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/300
一級建築士事務所 広島県知事登録第19(1)5276号 一級建築士 中瀬 哲也 大田 貴雄 第312589号 広島事務所 〒730-0024 広島県広島市中区西町1-12-1 ナフビル2階203 TEL: 082-543-4802 / FAX: 082-543-4802						DWG. NO	D-020		

身障者駐車スペース向け上屋 ウェルハート 4500N/m

基本タイプ 間口71

規格寸法一覧					
タイプ	記号	間口 (D)	奥行 (W)	高さ (H)	自動車収容台数
基本タイプ	GTZ-5871・A (D) -□□H	71	58	25 30	2台

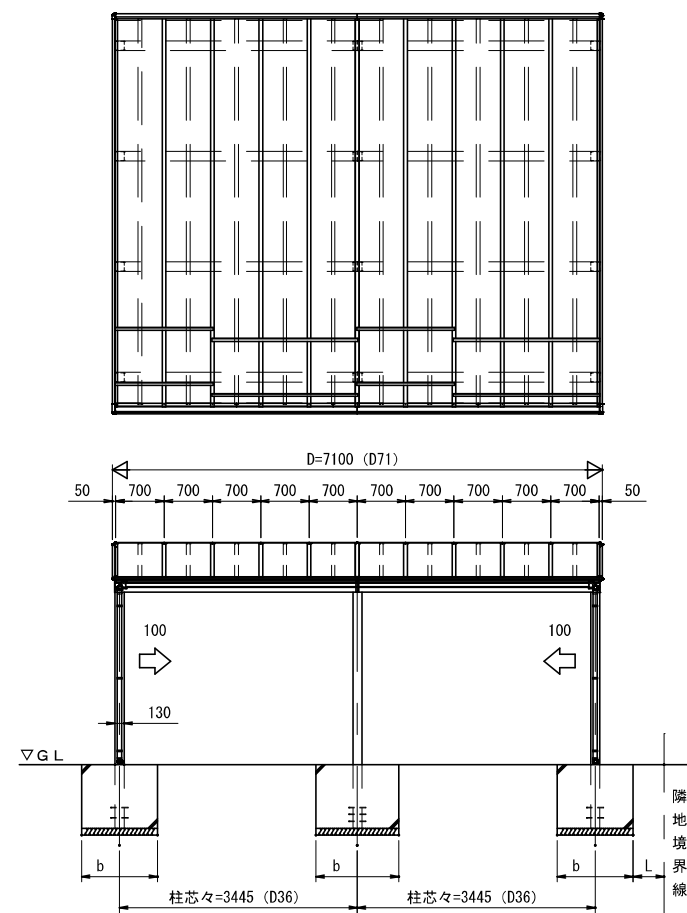
*CTZ-5871 • A (D) -□□H



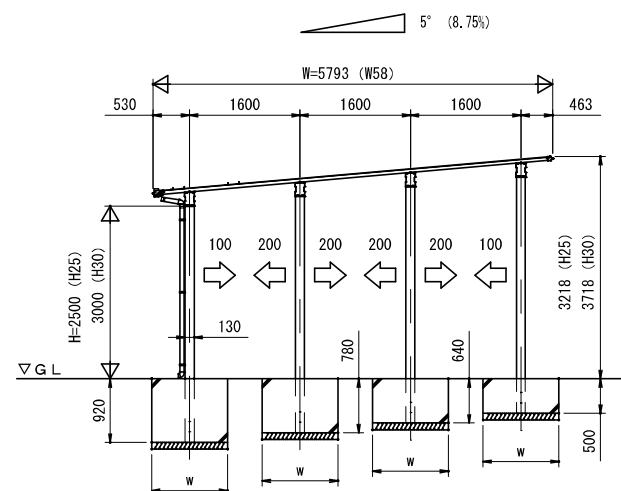
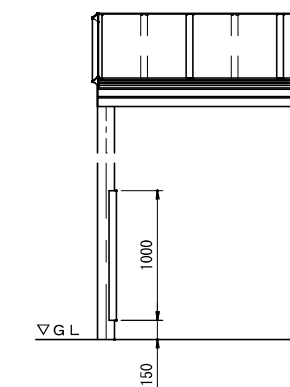
■材質仕様表

主要部材・部品	材質	規格
柱・梁・側枠・垂木・補助垂木・梁連結スリーブ	アルミニウム合金押出型材	A 6 0 6 3 S - T 6
柱補強	一般構造用角型鋼管	S T K R 4 0 0
樋・後枠・パネル押え（端部）・パネル押え パネル押えピース・アルミたて樋	アルミニウム合金押出型材	A 6 0 6 3 S - T 5
樋・後枠キャップ	樹脂	A S A
屋根パネル	ポリカーボネート板（ $t = 2.0$ ）	国土交通大臣認定番号：DW-9054
	熱線遮断FRP板 DRタイプ（ $t = 2.0$ ）	国土交通大臣認定番号：DR-9027
ボルト等	ステンレス	

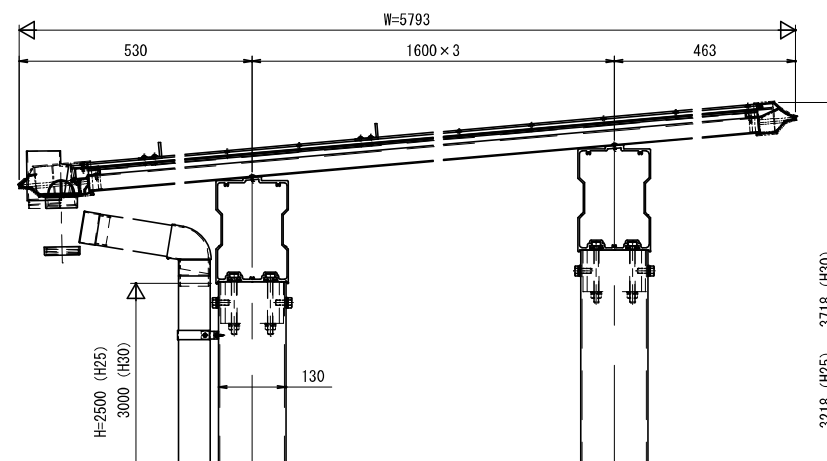
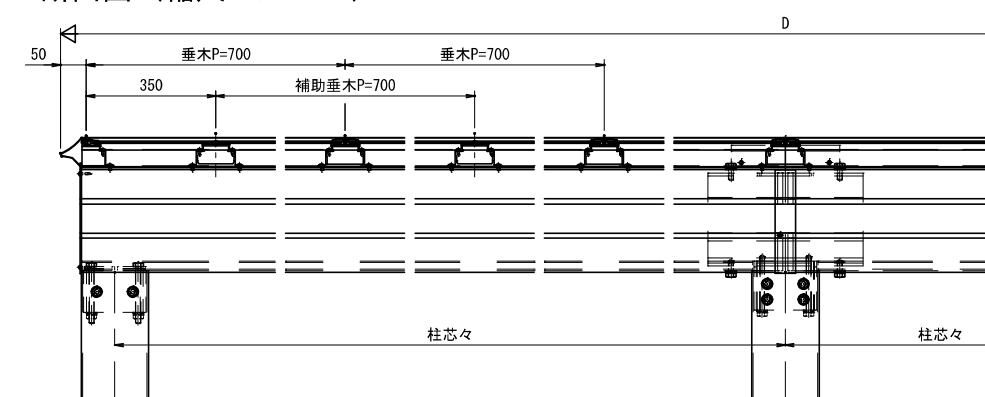
■納まり図（縮尺1／150）



■柱力バ一部拡大図（縮尺 1 / 80）



■断面図（縮尺 1 / 20）



■主要部材一覽（縮尺 1 / 1 0）

柱	梁	樋	後枠	側枠
<p>130</p> <p>130</p> <p>柱補強</p>	<p>140</p> <p>206.5</p>	<p>157</p> <p>50.2</p>	<p>95</p> <p>58</p>	<p>102.4</p> <p>55.8</p>
	<p>140</p> <p>206.5</p> <p>梁連結スリーブ</p>	垂木	補助垂木	パネル押え（端部）
		<p>105</p> <p>51.2</p>	<p>105</p> <p>43.7</p>	<p>32</p> <p>5.4</p>

■基礎寸法表

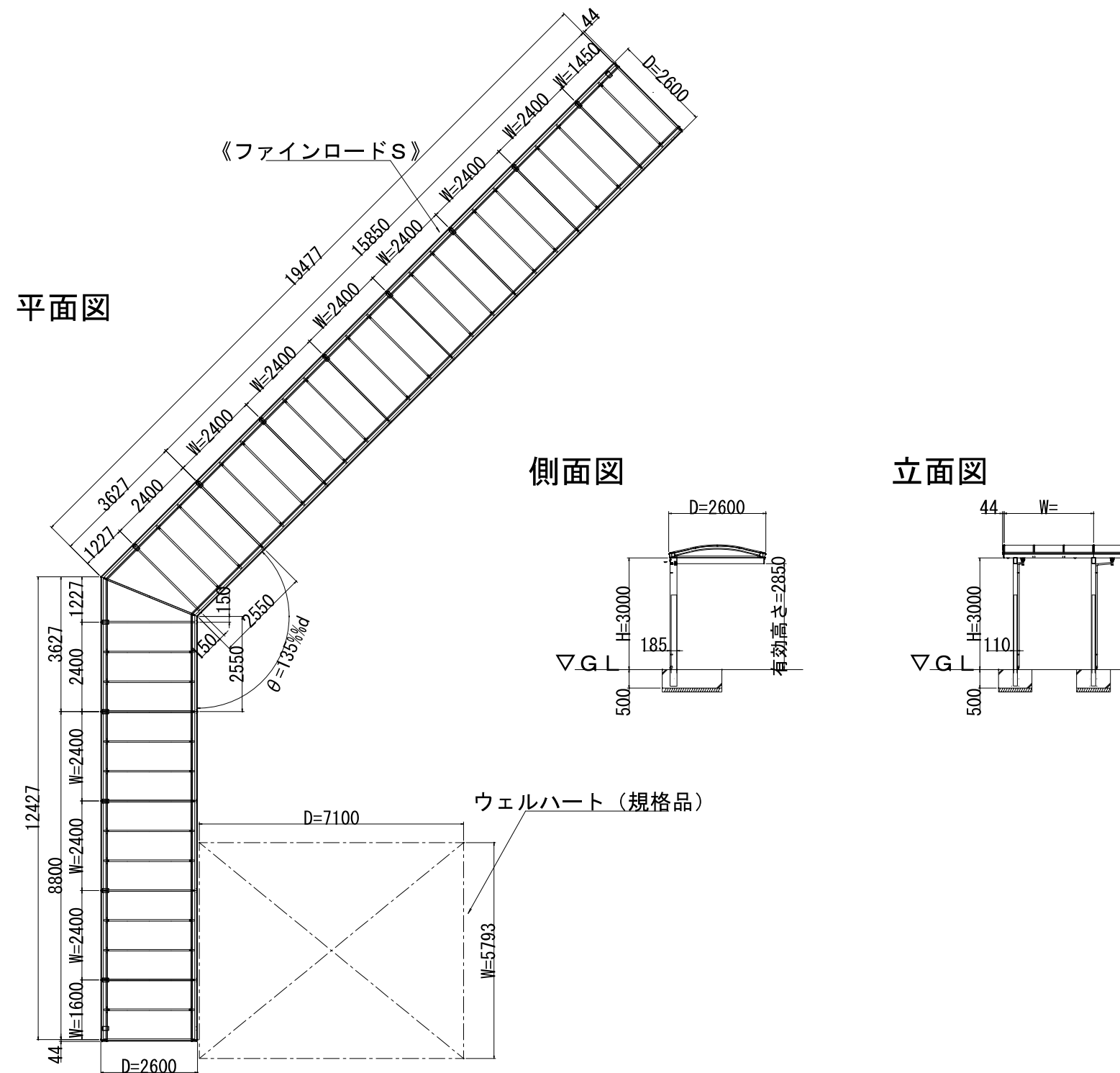
	長期地耐力 (kN/㎡)	降地境界線までの距離 (mm)	w			b		
			前柱	中間柱 (前・後)	後柱	前柱	中間柱 (前・後)	後柱
端部	30 ≤ H < 50	L ≤ 500	1300	1200	1200	1300	1500	1200
		L > 500	1300	1200	1000	1300	1200	1000
	N ≥ 50	L ≤ 500	1100	1100	1100	1100	1100	1100
		L > 500	1000	1000	1000	1000	1000	1000
端部	30 ≤ H < 50	L ≤ 500	1300	1200	1300	2400	2300	1700
		L > 500	1300	1200	1300	2400	2300	1700
	N ≥ 50	L ≤ 500	1200	1200	1200	1200	1400	1200
		L > 500	1200	1200	1200	1200	1400	1200

●地耐力が30kN/m

●地耐力の簡易判別法は上表を参考してください。

<p>柱補強</p>			<p>垂木</p>	<p>補助垂木</p>	<p>パネル押え (端部)</p>	<p>パネル押え</p>	<p>パネル押えベース</p>	<p>アルミたて樋</p>
------------	--	--	-----------	-------------	-------------------	--------------	-----------------	---------------

通路シェルター（ファインロードS 一本柱タイプ 積雪1500N／）



NOTE	PROJECT TITLE				TITLE			
・SCALE (A 2 版) ・ 7 1 % (A 3 版)	三次市農業交流連携拠点施設改修等工事							
	JOB. NO	APPD.	CHKD.	DRW.	DATE	SCALE	DWG. NO	
					2023. 12. 01	1/100	D-011	

三次市農業交流連携施設改修等工事

電気設備工事 特記仕様書

I 工事業要

1．工事場所　広島県三次市東酒町1-0-8番地

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備考
農業交流連携拠点施設	木造	平屋建	1,066.27㎡			

3．工事項目（・に○印の付いたものが対象工事項目）

建物別及び屋外		工　事　種　別					
工事項目	農業交流連携拠点施設					屋外	
○電灯設備	改設一式						
○動力設備	改設一式						
・電気自動車充電設備							
・电热設備							
・雪保護設備							
○受変電設備						改設一式	
・電力貯蔵設備							
・発電設備							
・構内情報通信線設備							
・構内交換設備							
・情報表示設備							
・映像・音響設備							
・拡声設備							
・誘導支援設備							
・テレビ共同受信設備							
・監視カメラ設備							
・駐車場管制設備							
・防犯・入退室管理設備							
・火災感知設備							
・中央監視制御設備							
○構内配電経路						改設一式	
・構内通信経路							
・テレビ電波障害防止設備							
○撤去工事	撤去一式						
・仮設工事							

II 工事仕様

1．図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の・に○印が付いたものによる。

○公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)（国土交通省大臣官庁官庁審議部）（以下「標準仕様書」という）

○公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)（国土交通省大臣官庁官庁審議部）（以下「改修標準仕様書」という）

○公共建築設備工事標準手順(電気設備工事編)(令和4年版)（国土交通省大臣官庁官庁審議部）（以下「標準手順」という）

2．本工事に建築工事、機械設備工事を含む場合、建築工事、機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書による。

3．本特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に○印が付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、・に○印の付いたものを適用する。

・に○印がつかない場合は、※印が付いたものを適用する。

・に○印及び※に○印が付いた場合は、共に適用する。

(3) □印、「図」は、「図等による環境物品等の流通の推進等に関する法律」（以下、「グリーン購入法」という）に基づく「環境物品等の流通の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

4．その他

項　目	特　記　事　項								
①関係法令等の遵守	関係法令(条例等を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触するおそれがあることを認識した場合には、その対応について監督職員と協議をすること。								
2 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定に用いる条件と指定地域 <table><thead><tr><th>風圧力</th><th>基準風速（V0）</th><th>() m/s</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>Ⅰ</td><td>Ⅱ</td><td>Ⅲ</td><td>Ⅳ</td></tr></tbody></table> 積雪荷重　建設省告示第1455号における区域　別表() 指定地域　・一般地域　・耐震地域　・重要指定地域	風圧力	基準風速（V0）	() m/s		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
風圧力	基準風速（V0）	() m/s							
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ					
③別途契約関連工事又は他工種との取合い	(1) 建築、電気設備、機械設備等の工事区分は工事区分表による。 これにより難い場合は、監督職員と協議する。 (2) 建築工事、設備工事を含めた総合図を作成し、監督職員の確認を受ける。 (3) 設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を作成し、監督職員の確認を受ける。								
④工事の記録	報告に用いる書式等 ※ 監督職員の指示による								
⑤電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気工作物の保安の業務を行うものとし、第1種、第2種、第3種電気主任技術者の資格を有する者又は次の同等の知識を有する者ととする。 <table><thead><tr><th>最大電力</th><th>同等の知識を有する者</th></tr></thead><tbody><tr><td>500kVA以上の需要設備</td><td>1級電気工事施工管理技士</td></tr><tr><td>100kVA以上500kVA未満の需要設備</td><td>1級電気工事施工管理技士　第1種電気工事士</td></tr><tr><td>100kVA未満の需要設備</td><td>1級電気工事施工管理技士　2級電気工事施工管理技士 第1種電気工事士　第2種電気工事士</td></tr></tbody></table>	最大電力	同等の知識を有する者	500kVA以上の需要設備	1級電気工事施工管理技士	100kVA以上500kVA未満の需要設備	1級電気工事施工管理技士　第1種電気工事士	100kVA未満の需要設備	1級電気工事施工管理技士　2級電気工事施工管理技士 第1種電気工事士　第2種電気工事士
最大電力	同等の知識を有する者								
500kVA以上の需要設備	1級電気工事施工管理技士								
100kVA以上500kVA未満の需要設備	1級電気工事施工管理技士　第1種電気工事士								
100kVA未満の需要設備	1級電気工事施工管理技士　2級電気工事施工管理技士 第1種電気工事士　第2種電気工事士								
⑥電気工事士	最大電力500kVA以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行うものとする。								
⑦施工条件	施工条件 <table><thead><tr><th>施工日・施工時間</th><th>・有()</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事車両の駐車場所</td><td>※有(駐車場所：※工事用地内)　・無</td></tr><tr><td>資機材置場所</td><td>※有(置場所：※工事用地内)　・無</td></tr><tr><td>その他</td><td></td></tr></tbody></table>	施工日・施工時間	・有()	工事車両の駐車場所	※有(駐車場所：※工事用地内)　・無	資機材置場所	※有(置場所：※工事用地内)　・無	その他	
施工日・施工時間	・有()								
工事車両の駐車場所	※有(駐車場所：※工事用地内)　・無								
資機材置場所	※有(置場所：※工事用地内)　・無								
その他									

発生時の処理等

○発注者（施設管理者）に引渡しを要するもの

・特別管理産業廃棄物
・本工事において調査を行う

○金属類　・盗賊　○電線、ケーブル類

・PCB使用機器　・蓄電池
・石綿含有設備資機材（・配線用遮断器）
・PCB使用機器の有無について調査を行い結果を監督職員に報告する。
特別管理産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理する。
工事中、特別管理産業廃棄物が発生すると判明した場合、その処理方法は監督職員と協議する。
製造業者又は販売業者に回収を委託（※本工事・別途）
・放射性質物質を含む放射性感応器
・再生資源化を図るもの
・蛍光灯　・HIDランプ　・小型二次電池

(1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放熱量」の区分に応じた材料を使用使用する。
2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-ヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、突っ張り棒、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 本工事において使用する材料のホルムアルデヒド放熱量等は、次のとおりとする。

1) JIS(日本産業規格)及びJAS(日本森林規格)の「F☆☆☆☆」品
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
3) 次の表示のあるJAS適合品
a) 接着剤等不使用
b) 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
c) ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
d) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 本工事において別表－1に示す機材等を使用する場合の機材等の製造業者等は、次の1)から6)すべての項目を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受けると。
ただし、設計図書に製造業者名が記載されている場合は証明となる資料等の提出は省略することができる。

1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
3) 安定的な供給が可能であること。
4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

(1)完成時の提出図書

図書の種類	データ形式	提出媒体	その他
完成図 (・既存完成図の修正)	② CADデータ ○ 電子データ(PDF形式) ○ 紙ベース	CAD-R 枚 D-R 枚 二つ折りA3 部 A4/PDF/A1R 部	監督職員の指示による CADデータの貸与
保全に関する資料	② 電子データ(PDF形式) ○ 電子データ(PDF形式) ○ 紙ベース	D-R 枚 D-R 枚 A4/PDF/A1R 部	標準仕様書第1編1.7.3による
・施工図	② 電子データ(PDF形式) ○ 紙ベース	CAD-R 枚 D-R 枚 二つ折りA3 部 A4/PDF/A1R 部	CADデータの貸与
・施工計画書	② 電子データ(PDF形式) ○ 紙ベース	CAD-R 枚 A4/PDF/A1R 部	

CADデータを貸与する場合、当該工事における完成図又は施工図の作成以外に使用してはならない。
施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

12 監督職員事務所

13 工事用仮設物

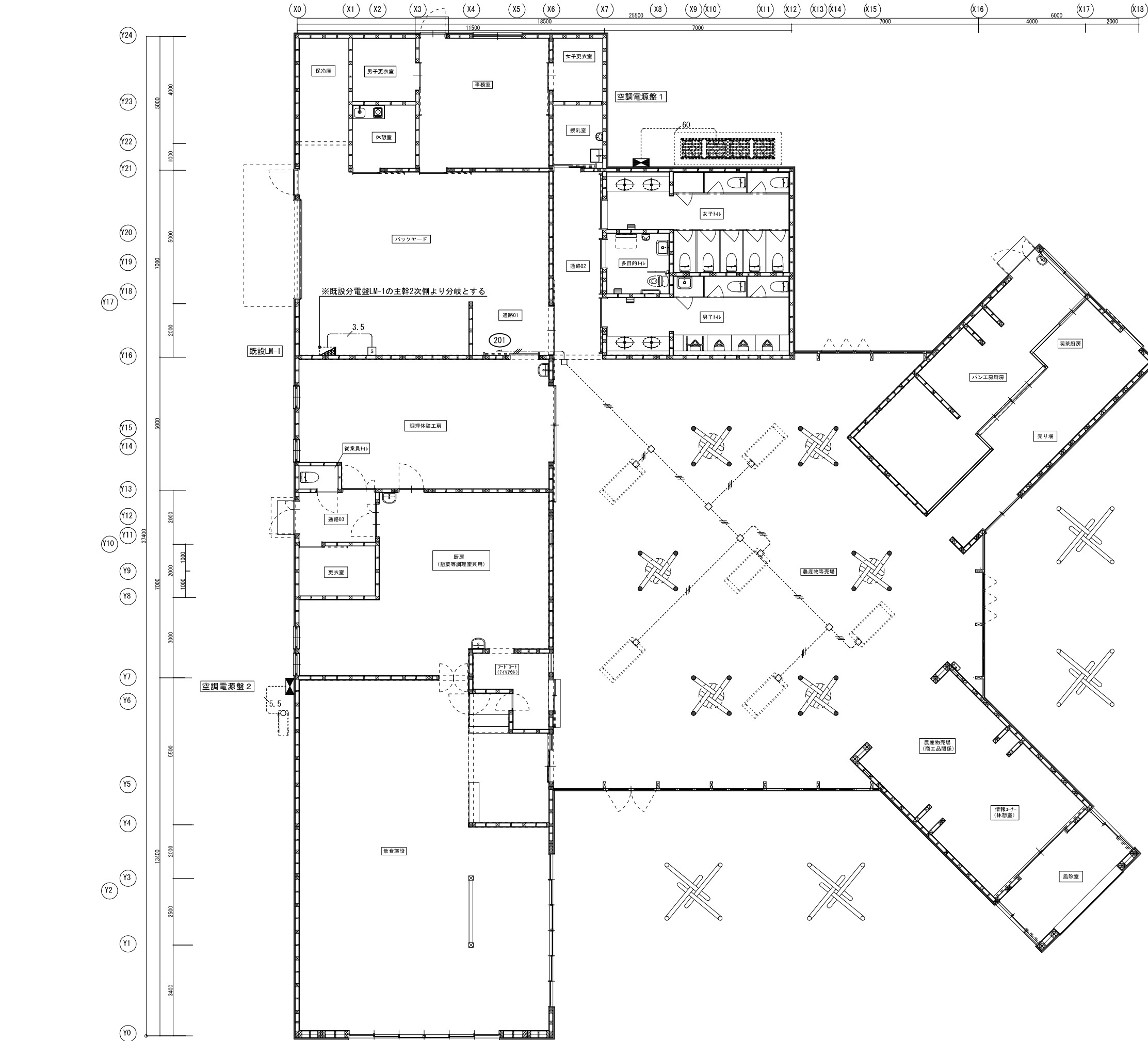
14 工事用電力、水、その他

15 足場その他

16 施工調査

17 埋め戻し土、盛土

18 建設発生土の処理



※空調電源盤 1 負荷リスト

回路番号	負荷名称	ケーブルサイズ	電線管	2種可とう電線管
A	空調室外機 (PAC-1)	EM-CE60° E14°	G70	F76 (防水)

※室外機への接続は二種金属可とう電線管にて保護のこと

※空調電源盤 2 負荷リスト

回路番号	負荷名称	ケーブルサイズ	電線管	2種可とう電線管
A	空調室外機 (PAC-2)	EM-CE5.5° -4C	G28	F30 (防水)

※室外機への接続は二種金属可とう電線管にて保護のこと

ブルボックスリスト

記号	名称
☒ 222	200×200×200 (SS)
☒ 333	300×300×300 (SS)

但し、WP印は防水型ステンレス製とする。

特記なき配線は下記による。

-----	EM-EEF2.0-3C (E25)	
-----	EM-CE3.5° -3C	保護管 (E25)
-----	EM-CE5.5° -4C (G28)	
-----	EM-CET 60° E14° (G70)	
-----	EM-CE5.5° -4C (FEP30)	
-----	EM-CET 60° E14° (FEP65)	

立上げ、引下げ部分は上記保護管により保護とする。

< 注記 >

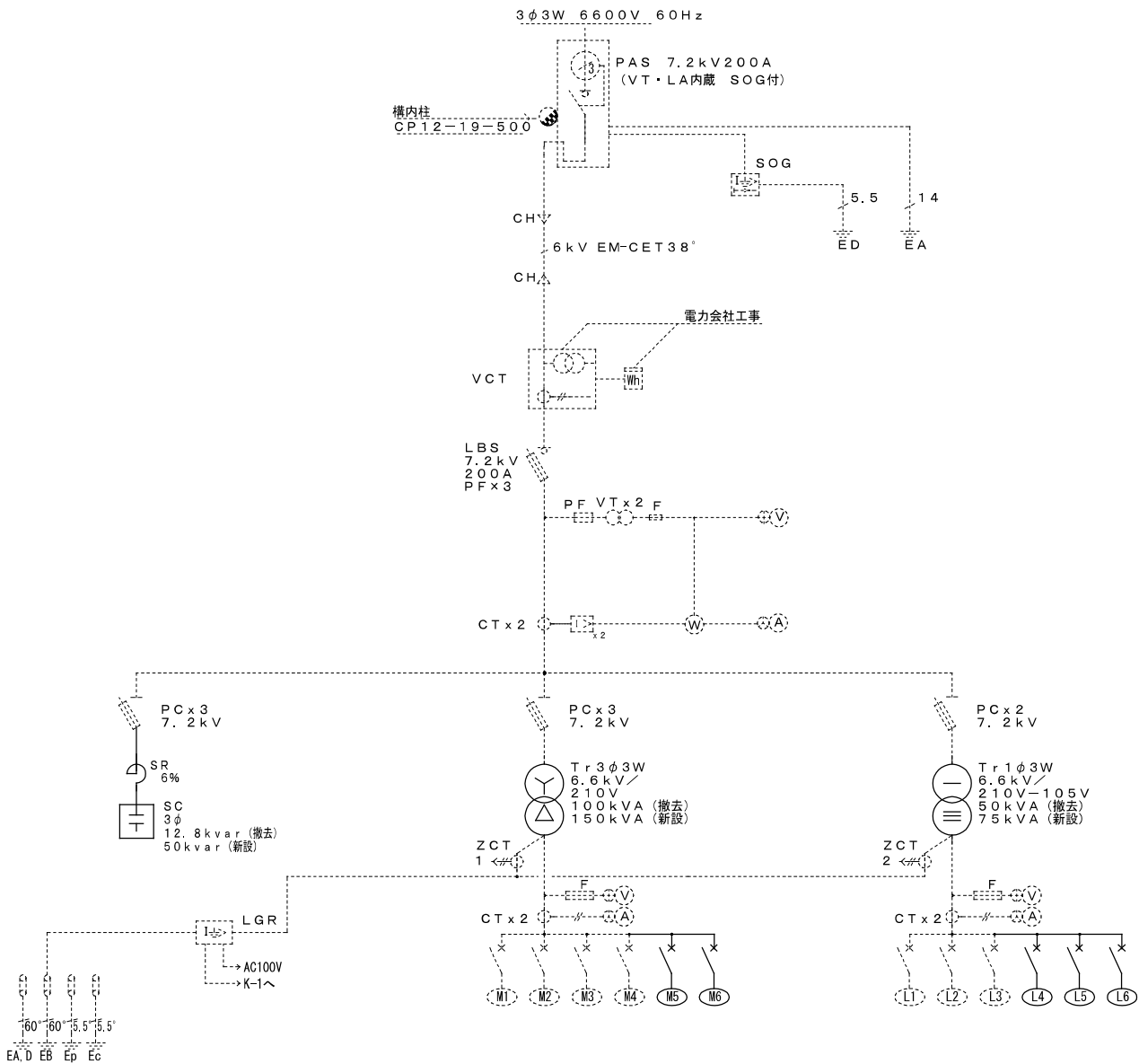
空調リモコン部分は露出スイッチボックス取付及び空配管 (E19) を行うこと。

特記なき記号は下記による。

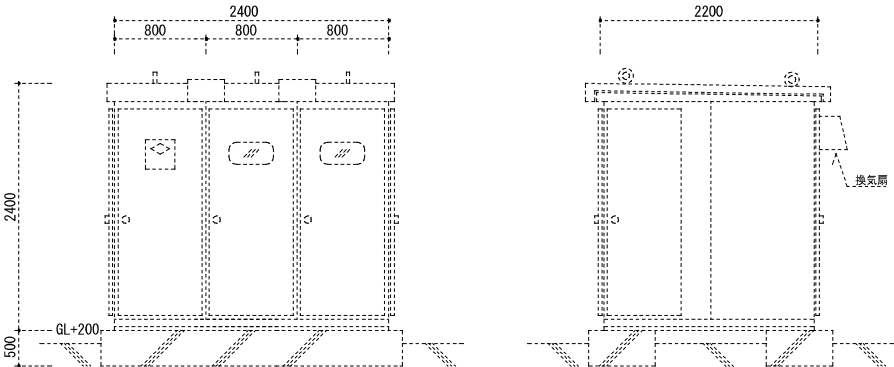
記号	名称	仕様
☐	電灯分盤	電灯分電盤結線図参照
☐	動力盤	動力制御盤結線図参照
☒	ブルボックス	各種
☐	位置ボックス	各種
[S]	手元開閉器盤	銅板製 壁掛型 MCB50/20AT×1
[R]	空調リモコンスイッチ	別途機械設備工事
-----	天井ころがし配線	
-----	天井隠ぺい配管配線	
-----	床隠ぺい配管配線	
-----	露出配管配線	
-----	地中埋設配線	

高 圧 受 変 電 設 備 系 統 図

記号	名 称	備 考
LBS	負荷開閉器 (PF付)	欠相保護付
P C	高圧カットアウトスイッチ	
MCCB	配線用しゃ断器	
V T	計器用変圧器	モールド型
C T	計器用変流器	モールド型
Z C T	零相変流器	
T	変 圧 器	油入自冷式
S C	進相コンデンサ	油入式
S R	直列リアクトル	油入式
P F	電力ヒューズ	
F	栓形ヒューズ	
C H	ケーブルヘッド	
Ⓢ	電圧計切換スイッチ	
Ⓐ	電流計切換スイッチ	
Ⓛ (LGR)	低圧地絡継電器	3回路用
Ⓜ	電 力 計	
Ⓐ	電 流 計	
Ⓥ	電 圧 計	
Ⓜ	電 力 量 計	
Ⓛ	高圧地絡継電器	方向性有



屋外型 高圧キュービクル姿図・仕様



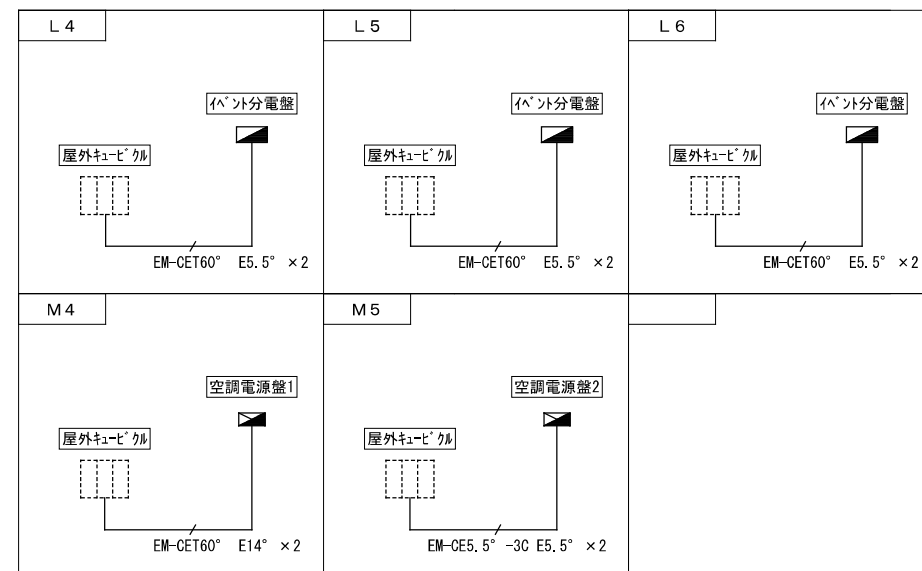
変圧器	幹線No	負荷容量 (KW)	負荷名称	開閉器容量	配線サイズ
No. 1 3φ150kVA	M1	(43.96)	LM-1	MCCB3P 100A/75A	EM-CET60°
	M2	(32.47)	LM-2	MCCB3P 225A/175A	EM-CET60°
	M3	(47.296)	LM-3	MCCB3P 225A/225A	EM-CET100°
	M4		LM-3	MCCB3P 50A/30A	EM-CV5.5° -4C
	M5	22.80	空調電源盤1	MCCB3P 225A/225A	EM-CET60° E14°
	M6	2.45	空調電源盤2	MCCB3P 100A/75A	EM-CE5.5° -3C E5.5°
148,976KW			予 備	MCCB3P 100A/100A	

変圧器	幹線No	負荷容量 (kVA)	負荷名称	開閉器容量	配線サイズ
No. 2 1φ75kVA	L1	(24.174)	LM-1	MCCB3P 200A/150A	EM-CET60° E14°
	L2	(17.821)	LM-2	MCCB3P 200A/125A	EM-CET60° E14°
	L3	(5.312)	LM-3	MCCB3P 100A/50A	EM-CET22° E14°
	L4	9.60	イベント分電盤1	MCCB3P 100A/100A	EM-CET60° E5.5°
	L5	9.60	イベント分電盤2	MCCB3P 100A/100A	EM-CET60° E5.5°
	L6	9.60	イベント分電盤3	MCCB3P 100A/100A	EM-CET60° E5.5°
76,107kVA					

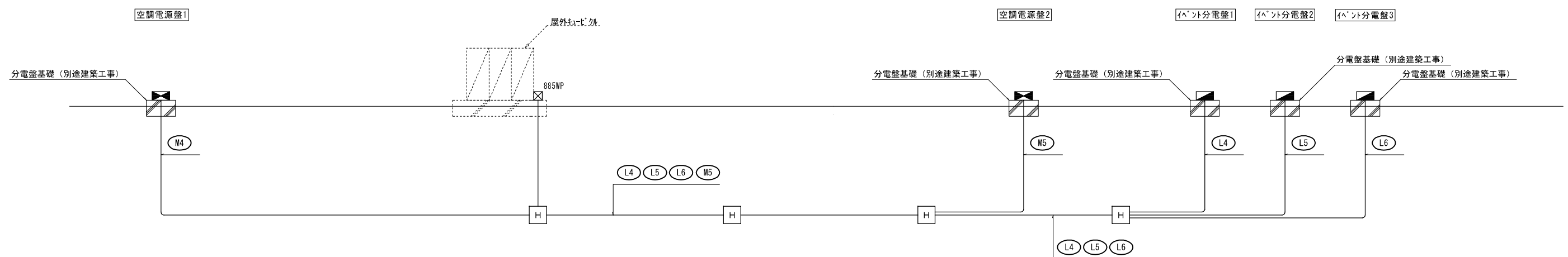
<工事概要>
実線部分の変圧器・コンデンサの新設及びブレーカーの新設を行う
上記改修に伴い、配線及び機器の改修も行うこと

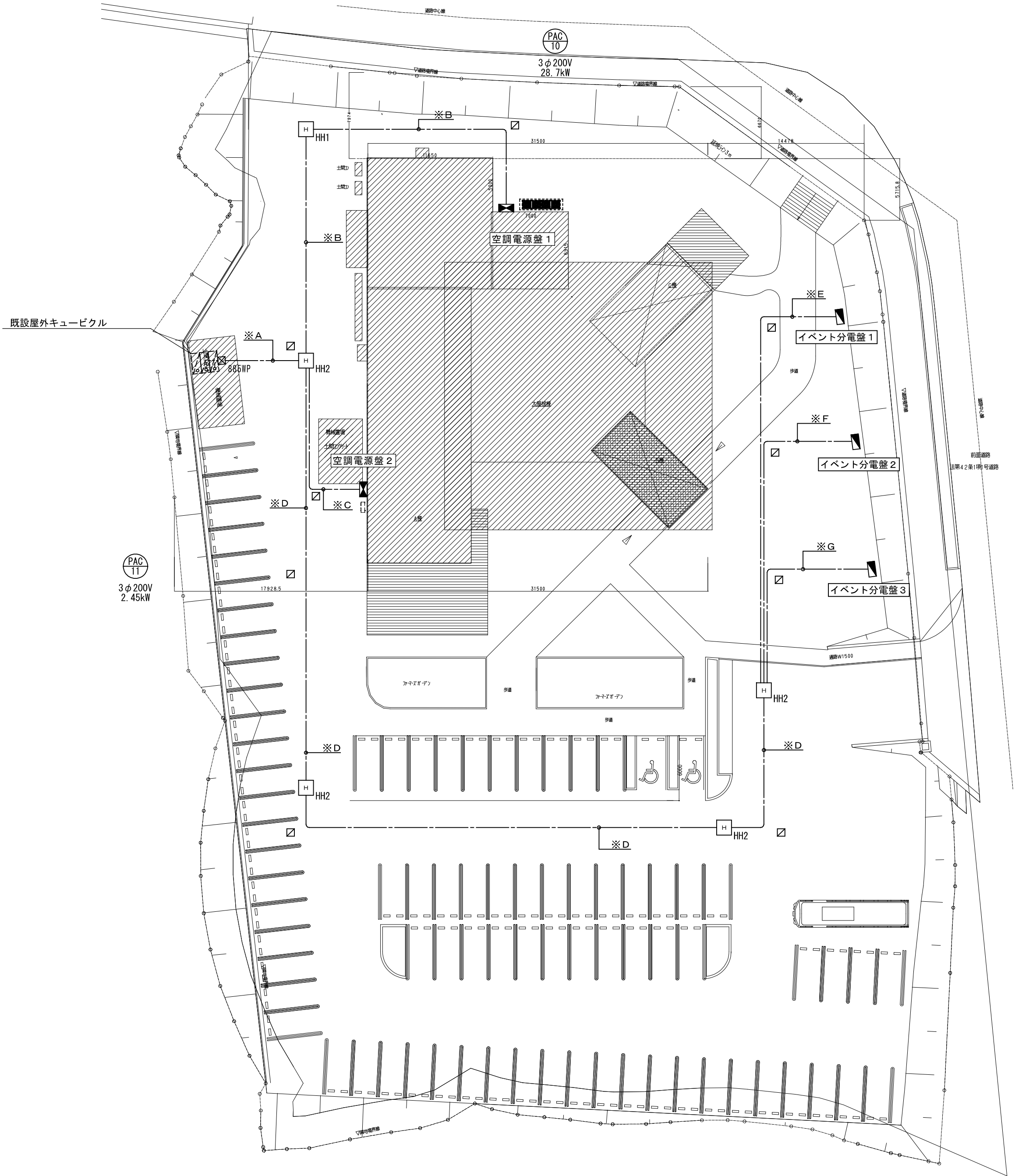
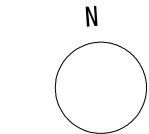
NOTE	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社			PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 高圧単線結線図		
	一級建築士事務所 広島県知事会館第131(1)3376号 一級建築士 中野哲也 大田豊隆第313555号 広島事務所 〒730-0024 広島県広島市中区紙屋町1-2(サンポート広島202) TEL 082-642-4602 / FAX 082-642-4602			JOB NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE
								N. S	DWG NO	E-003

幹線ブロック図



記 号	幹線サイズ	露出	地中
①L4	EM—CET60° E5.5° × 2	G70	FEP65
①L5	EM—CET60° E5.5° × 2	G70	FEP65
①L6	EM—CET60° E5.5° × 2	G70	FEP65
①M4	EM—CET60° E14° × 2	G70	FEP65
①M5	EM—CE5.5° -3C E5.5° × 2	G28	FEP30

[illegible]



配線図S=1/300

※A

名称	ケーブルサイズ	電線管
L 4	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)
L 5	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)
L 6	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)
M 4	EM-CET 60° E14° ×2	(FEP65)
M 5	EM-CE5. 5° -3C E5. 5° ×2	(FEP30)

※B

名称	ケーブルサイズ	電線管
M 4	EM-CET 60° E14° ×2	(FEP65)

※C

名称	ケーブルサイズ	電線管
M 5	EM-CE5. 5° -3C E5. 5° ×2	(FEP30)

※D

名称	ケーブルサイズ	電線管
L 4	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)
L 5	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)
L 6	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)

※E

名称	ケーブルサイズ	電線管
L 4	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)

※F

名称	ケーブルサイズ	電線管
L 5	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)

※G

名称	ケーブルサイズ	電線管
L 6	EM-CET 60° E5. 5° ×2	(FEP65)

ブルボックスリスト

記号	名称
☒ 885	800×800×500 (SS)

但し、WP印は防水型ステンレス製とする。

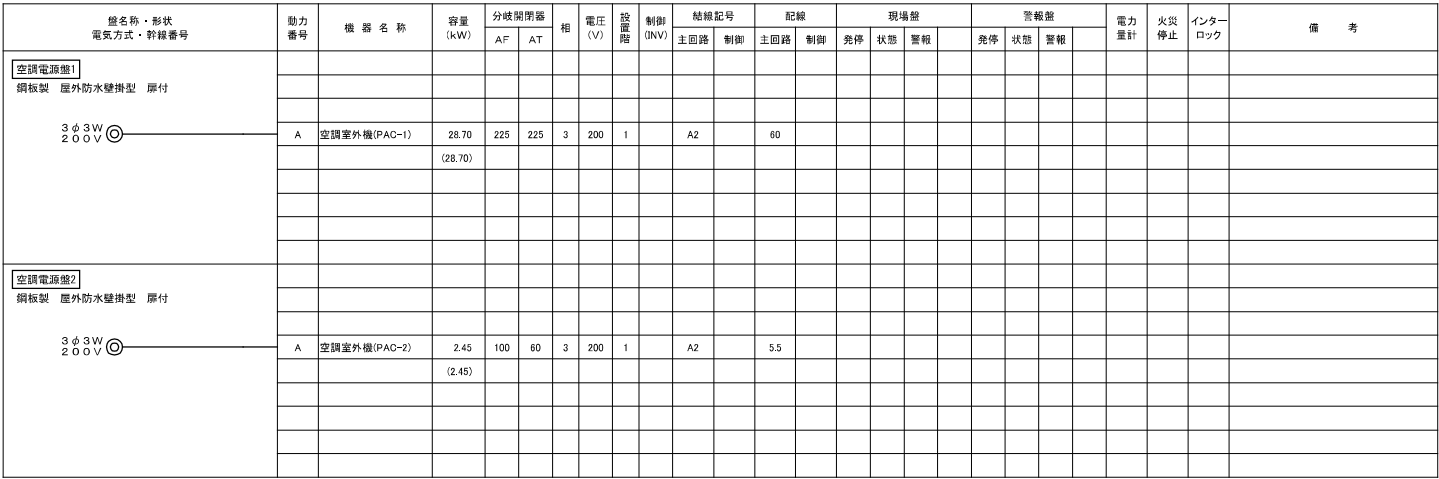
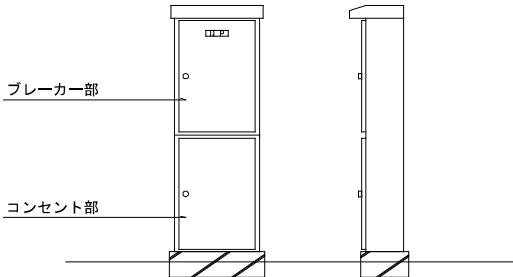
特記なき記号は下記による。		
記号	名称	仕様
▲	電灯分電盤	結線図参照
☒	ブルボックス	各種
H HH1	ハンドホール	H1-9 鉄蓋 (R8K-60)
H HH2	ハンドホール	H2-9 鉄蓋 (R8K-60)
☑	地中埋設標	鉄製
----	天井ころがし配線	
----	天井隠べい配管配線	
----	床隠べい配管配線	
-----	露出配管配線	
-----	地中埋設配線	

< 注記 >
アスファルト舗装、インターロッキング舗装、コンクリート仕上げ、
芝生部分の撤去・復旧は全て建築工事とする

NOTE				PROJECT TITLE				TITLE			
一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社				三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				構内配電線路図			
一級建築士事務所 広島県知事登録第18(1)3576号 一級建築士 中瀬賢也 大田孝雄第31359号 広島事務所：〒739-0004 広島県広島市中区西平賀町4-12(サトウ1号館202) TEL 082-943-4002 / FAX 082-943-4003				JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	1/300
								DWG. NO	E-006		

[illegible]

イベント分電盤 取付参考図



空調設備 機器表（新設）

機器 番号	機 器 名 称	仕 様	電 源			台 数	設 置 場 所	備 考
			消費電力 (kw)	相 (φ)	電 圧 (V)		室 名	
PAC-10	空冷パッケージエアコン	型 式： ビル用マルチエアコン室外機 冷暖切替型 (圧)	13.7+12.3	3	200	1	屋外	
		冷房能力： 85.0 kw 暖房能力： 95.0 kw (冷房)	25.00					
		附 属 品： 防雪フード(吹出口)、凍結防止ヒーター (暖房)	28.70					
		防雪高置台(500H)、防振ゴムパッド、附属品一式						
PAC-10-1	空冷パッケージエアコン	型 式： 天井埋込カセット形 2方向吹出 (冷房)	0.20	1	200	6	農産物等売場	指定色塗装
		冷房能力： 14.0 kw 暖房能力： 16.0 kw (暖房)	0.20					
		附 属 品： オートグリルパネル、ロングライフフィルター						
		防振吊金物、ワイヤードリモコン、附属品一式						
PAC-11	空冷パッケージエアコン	型 式： 天井埋込カセット形 4方向吹出(同時ツイン) (圧)	1.79	3	200	1	飲食施設	指定色塗装
PAC-11-1		冷房能力： 10.0 kw 暖房能力： 11.2 kw (冷房)	2.30					
		附 属 品： 防雪フード(吹出口)、凍結防止ヒーター (暖房)	2.45					
		防雪高置台(500H)、防振ゴムパッド						
		オートグリルパネル、ロングライフフィルター						
		防振吊金物、ワイヤードリモコン、附属品一式						

空調設備 機器表（撤去）

[illegible]

農産物等売場 室内機取付要領図(参考)

空調機取付用吊金物

空調機支持溝形鋼
t5×50×100 1450L

空調機支持溝形鋼固定用金物

空調機

防振吊金物

パネル

※ 臭気対策及び逆流防止対策を行うこと。

飲食施設 室内機取付要領図(参考)

空調機取付用吊金物

空調機支持溝形鋼
t5×50×100 1000L

空調機支持溝形鋼固定用金物

空調機

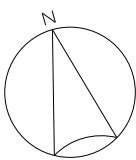
防振吊金物

パネル

※ 臭気対策及び逆流防止対策を行うこと。

- ※1 オゾン破壊係数のものとする。
- ※2 電気容量は参考値とし、能力は記載値以上とする。
- ※3 室外機と室内機の連絡配管は冷媒管と共巻きとし本工事とする。
- ※4 室内機からリモコンまでの配線（EM-GEE1.25口-2C）は本工事とする。
- ※5 グリーン購入法（2015年）適合機器とする。
- ※6 配管等の防火区画貫通は、令129の2の5及び告示1422号による。
- ※7 能力及び消費電力はJIS B 8616に規定された定格条件による。

NOTE	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社		PROJECT TITLE 三次市農業交流連携拠点施設改修等工事				TITLE 空調設備 機器表（改修後，改修前）					
	一級建築士事務所 ナフ・アーキテクト アンド デザイン 有限会社 広島事務所 〒730-0024 広島県広島市東区西早稲町8-15(サトシビル2階) TEL 082-543-4862 / FAX 082-543-4863		JOB. NO	APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2023. 12. 01	SCALE	N. S.	DWG. NO	M-002



※冷媒管サイズは参考とする。
 ※● は区画貫通処理を示す。
 ※撤去範囲外の配管は残置とする。
 ※断管端部は適切な処理をすること。
 ※空調室内機撤去後の壁補修は建築工事とする。